

三 対中国借款関係雑件（三）三七〇

三一八

右見証ス

大日本帝国総領事

在広東

総領事 太田 喜平（印）

期限 大正五年十二月三十日  
担保 広東省地方税  
成立 大正六年五月十日  
期限 大正六年五月十日  
担保 広州及布政使衙門官有土地建物、海關敷地  
成立 大正五年十一月十日  
期限 大正六年五月十日  
担保 広州及布政使衙門官有土地建物、海關敷地  
（之ハ二十万円借  
款成立ノ時追加）

大正六年四月二日  
在広東

（大正六年四月二日現在台湾銀行調）

台灣銀行対広東省借款表

- 一、銀四十万弗 第一次水害借款  
成立 大正四年七月二十三日  
期限 大正五年一月二十二日  
担保 広東省地方税
- 二、金六十万円 第二次水害借款  
成立 大正四年十二月三十一日

ナリ

事項四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件

附 日本ノ満蒙鉄道事業ヘノ米国資本家協同ニ関スル件

第五号

在米國佐藤大使（ヨリ  
本野外務大臣宛（電報）

三七一 一月九日

中国運河借款ノ日米協同ニ関シ我方希望通り

中國側ニ交渉スベキ旨ストレート氏談話ノ件

附 記一 大正五年十二月十八日在米國佐藤大使発本野

外務大臣宛電報第一〇六号

中国運河借款ノ日米協同方米国業者ヨリノ申出ニ對スル回答振ニ付請訓ノ件

二 大正五年十二月二十二日付神野大藏省理財局

長ヨリ小幡政務局長宛書信

中国運河借款ヘノ参加ニ賛成ナル旨ノ大藏省

意向通報ノ件

三 大正五年十二月二十四日本野外務大臣発在米

國佐藤大使宛電報第一一九号

中国運河借款ノ日米協同ニ関スル米國側申出ニ応諾方回訓ノ件

四 大正五年十二月二十五日本野外務大臣ヨリ在

米國佐藤大使宛電報第一二一号

中国運河借款ノ日米協同問題ニ関スル経緯ニ付通報ノ件

（附 記一）  
大正五年十二月十八日在米國佐藤大使発本野外務大臣宛電報  
第一〇六号  
中国運河借款ノ日米協同方米国業者ヨリノ申出ニ對スル回答  
振ニ付請訓ノ件

（十二月十八日接受）

「アメリカン、インターナショナル、コーポレーション」  
ニ於テハ近來支那ニ於ケル投資ニ付日本ト提携セントスル



三七一 一月十三日 本野外務大臣ヨリ 在中國公使宛(電報)

**山東江蘇兩省運河借款ノ日米協同ニ關シ小野**

**興銀副總裁ニ仮契約締結権委任並我方ノ対米**

**協同条件ニ付米國側ヲ説得方ノ件**

附記 一月十一日附志立興業銀行總裁ヨリ小幡政務局長宛書信山東江蘇兩省運河借款ニ關シ小野副總裁トノ間ノ往復電報通報ノ件

第三四号

山東江蘇兩省運河借款日米協同ノ件成行ハ其都度貴官へ転電セル本省在米大使間往復電報ニテ御承知ノ通りナル處一月十一日在紐育小野興業銀行副總裁ヨリ同行本店ニ対シ左ノ条件ニヨリ日本興業銀行及 American International Corporation 共同シテ本件公債ヲ発行シ其他附屬事業ヲ取扱度ニ付右ニ閲スル仮契約締結ノ権限ヲ委任アリ度シトテ(ト)本公債額面六百万弗ノ内日本ハ二百五十万弗米国ハ三百五十万弗ヲ引受ケ東京及紐育ニ於テ同時ニ發行スルコトメ米国ハ從来ノ契約ヲ取消シ新ニ日本及米國資本家代表者ト支那政府トノ間ニ契約ヲ締結スルコト(其ノ他ノ条項ハ大体從来ノ契約ニ準拠シ American International Corpora-

tion ポリ契約更新方支那政府ニ交渉スルコト工事ハ從來中ニテ又公債發行条件ハ利子七分手取九十五ヶ年据置十五年間毎年定額償還、担保物件ハ運河收入金埋立地売上代金ナル旨申添ヘ來レルニヨリ協同条件ノ詳細ハ暫ク措キ同行本店ヨリ不敢小野ニ對シ本件ニ關シ American International Corporation ト諸般ノ交渉ヲ為シ及仮契約ヲ締結スルニ要スル一切ノ権限ヲ委任スル旨回電シタル趣ナルカ前記協同条件ハ大体米國側ノ希望ニ出テタルモノト推測セラル處日米分担金額ハ前記通りニテモ敢テ差支ナシトスルモ我方ニ於テ單ニ投資スルノミニテ全然事業上ニ參加セサルコトハ協同ノ精神ヨリスルモ將又帝國ノ山東ニ於ケル地

位ヨリ考フルモ甚面白カラズ右ニ付テハ少クモ工事会計副主任等ニ本邦人ヲ入ルルコト若クハ何等カノ方法ニヨリ我

方モ事実事業ソノモノニ閲与スルコト致度其意味ニテ小野ヲシテ米國側ニ交渉セシメンカト考ヘ居ル次第ノ處貴見一応承知致度右ニ付例ヘハ客年貴電第九五〇号通り我方ヨ

リノ本工事所要材料ヲ供給スルコトトナスカ如キモ其一方法カト思考セラル尚元來米國側カ我方ト本件協同方申出ツルニ至リタルハ御承知ノ通り山東省ノ關係上我方ヨリ支那政府ノ注意ヲ喚起スルノ措置ニ出テタルニ負フ所尠カラスト思考セラレ我方ニ於テモ相当強味ヲ有スル次第ニ付右事業參加ノ件貴官ニ於テモ御同感ナルニ於テハ此点貴方ニテ在貴地米國側本件關係者ニ對シ可然御説得相成度シ

(附記)

一月十一日附志立興業銀行總裁ヨリ小幡政務局長宛書信山東江蘇兩省運河借款ニ關シ小野副總裁トノ間ノ往復電報通報ノ件

拝啓別紙甲号之電報紐育小野氏分着シ候ニ付乙号之返電不取敢發送致置候間御含置相願候

敬具

一月十二日

志立 鉄次郎

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ關スル件 三七一

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 三七〇

両借款ヲ其儘ニ据置キ協同方案ヲ定ムルヲ捷

径トスキ旨ケーリ氏内話報告並我方ノ対米

協同ノ程度等ニ付請訓ノ件

(一月十四日接受)

一月十一日 Carey ハ運河借款ニ關シ大要左ノ通出淵ニ内話シタル由

Corporation ガ今回日米協同ニ依リ運河借款ヲ実行スルコトニ方針ヲ決定シタルハ自分ノ大ニ歓迎スル所ナリ本部ノ訓令ニ依リ最近長時間支那当局ト会談シ先ツ某資本團(日本トハ曰ハズ)ニ於テ協同ノ意アルコトヲ洩シ先方ノ意向ヲ採リタルニ別段異存アル模様見エナリシガ山東江蘇兩借款ヲ併合スルコトニ對シテハ支那側ニ於テ両省各々事情ヲ異ニスル点及両省トモ本借款ニ對シ苦情ヲ唱ヘ居ル次第ヲ指摘シテ其实行困難ナルコトヲ述ヘ容易ニ応諾スル模様ナシ自分ノ考ニテハ此際縱令以上ノ目的ヲ達シ得ルトスルモノ新ニ契約スルコトナレバ国会ナル難闇モアリ成立困難ナルベシト認メラルニ付寧ロ兩借款契約ヲ其儘ニ据置キ協同方案ヲ定ムルコト捷路ナルベシト思料ス云々

何レ其内 Carey ヨリ重ネテ何分ノ義申采ル筈ナルガ本邦側ニテハ如何ナル程度ニ於テ協同ヲ欲スル次第ナルヤ又協同相手ハ如何ナル資本團ナルヤ本使心得迄ニ電報アリタシ  
三七四 一月十六日 在中國林公使ヨリ  
山東江蘇兩省運河借款ノ日米協同ニ關スル我方條件ニ付意見具申ノ件  
第五六号  
貴電第三四号ニ關シ我方ニ於テ投資以外事業其物ニ参加スルコト望マシキハ閣下ト同感ナルモ元來運河借款契約ナルモノハ米國側単独ノ尽力ニ依リ成立シタルモノニシテ我方ニハ單ニ山東ニ対スル投資優先權ナル理論上ノ強味アルニ過ギズ從テ右ノ事情ニ顧ミ今回ハ成ルヘク我ニ於テ自制的ノ態度ニ出デ米國側ニ好感ヲ与ヘ将来起ルヘキ幾多ノ有利ナル事業ニ対シ均等的協同ノ実ヲ挙ケルノ素地ヲ作ルコト得策ナルヘシト思料ス右ノ見地ヨリシテ貴電所載ノ各項ニ付左ニ舉見開陳ス

(一)工事會計副主任ナルモノハ左迄望マシキ地位ニ非ザルノミナラズ適任者ヲ得ザル場合ニハ却テ米國側ノ感情ヲ害シ

事業進行ノ障害ヲ來ス虞アルニ付我ニ於テ強ヒテ主張セザ

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 三七四

三七〇

側ニテハ如何ナル程度ニ於テ協同ヲ欲スル次第ナルヤ又協

同相手ハ如何ナル資本團ナルヤ本使心得迄ニ電報アリタシ

三七四 一月十六日 在中國林公使ヨリ  
山東江蘇兩省運河借款ノ日米協同ニ關スル我方條件ニ付意見具申ノ件

第五六号

貴電第三四号ニ關シ我方ニ於テ投資以外事業其物ニ参加スルコト望マシキハ閣下ト同感ナルモ元來運河借款契約ナルモノハ米國側単独ノ尽力ニ依リ成立シタルモノニシテ我方ニハ單ニ山東ニ対スル投資優先權ナル理論上ノ強味アルニ過ギズ從テ右ノ事情ニ顧ミ今回ハ成ルヘク我ニ於テ自制的ノ態度ニ出デ米國側ニ好感ヲ与ヘ将来起ルヘキ幾多ノ有利ナル事業ニ対シ均等的協同ノ実ヲ挙ケルノ素地ヲ作ルコト得策ナルヘシト思料ス右ノ見地ヨリシテ貴電所載ノ各項ニ付左ニ舉見開陳ス

(一)工事會計副主任ナルモノハ左迄望マシキ地位ニ非ザルノミナラズ適任者ヲ得ザル場合ニハ却テ米國側ノ感情ヲ害シ

事業進行ノ障害ヲ來ス虞アルニ付我ニ於テ強ヒテ主張セザ

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 三七四

三七五

ル方宜シカルヘシ

(一)材料供給ノ件ハ御訓令ノ次第モアリ且從来ノ行懸リモアルニ付其内充分「カレー」ヲ説得スヘキモ此際具体的約束ヲ取付タルコト困難ナルヘキカト思料スルニ付假契約中ニハ(日本ニ於テ調達スル方便利且經濟的ナリト認メラルル種類ノ材料ハ日本ヨリ供給ヲ受クベシ)位ノ規定ヲ設クルニ止ムル方然ルヘシ  
(二)以上二点ハ将来滿蒙鉄道ニ對シ米國ノ資本ヲ入ルルコトアルヘキ場合ヲ予想シ特ニ考慮ニ容レラル必要アルヘシ将又今回米國側ヨリ申出テタル五ト七ノ協同割合ハ如何ナル標準ニ基ク次第ナルヤ本使含迄ニ電報アリタシ(奉天經由、一月十六日前一〇、四〇)

三七五 一月十七日 在中國林公使ヨリ  
山東江蘇兩省ノ運河借款契約併合問題ニ關シ  
ケーリ氏ノ中國水利局副總裁トノ懇談內容報  
第六六号  
告並同氏ノ考察ニ關シ請訓ノ件

十六日午前 Carey 出淵ヲ來訪シ山東江蘇兩省運河契約併合

三七五

ノ件ニ付其ノ後重テ水利局副総裁潘復ト懇談ヲ遂ケタル結果先方ニ於テ稍々譲歩的態度ヲ示シ結局山東省ノ分ヲ大総統ノ命令ニ依リ江蘇省ノ分同様水利局ノ関係ニ移シ以テ両者共ニ水利局ニ於テ統轄スルコトトシ次テ同局ト Corporation トノ間ニ實際上江蘇山東両契約併合ノ目的ヲ達シ得ルカ如キ規定ヲ覺書ニテ取極ムル程度ナラハ承諾スヘキ意図ヲ洩シタルモ現在両契約其ノモノニ変更ヲ加ヘ若ハ新契約ヲ締結スルコトニハ絶対ニ同意セサル模様ナリト内話シ

事情右ノ如クナルヲ以テ(一)覺書ノ形式ニテ国会ノ難閑ヲ避クルコト(二)資本家ニ取り利益ナル江蘇契約ヲ標準トシテ併合ノ目的ヲ達スルコト(三)覺書中ニ「公債ハ紐育以外ノ外国市場ニ於テモ発行シ得ルコト」ノ一条項ヲ設ケ日本ニ於テ発行シ得ル途ヲ開クコト(四)支那側ニハ二百五十万弗支ハ日本ニ於テ引受クルコトヲ口頭ニテ説明シテ納得セシムルコトノ方針ニ急速ニ話ヲ纏ムル方得策ト思料スルニ付本使ノ同意ヲ得タキ旨申出テ尚日本ト共同スヘキコトハ既ニ反覆内話シタルニ強テ異存ナキ口振ナリシモ支那ノ國論及逸ニ対スル關係ヲ深ク顧慮シ居ルモノノ如ク日本トノ新聞

シメ置キタリ帝国政府ニ於テモ右ニ御異存ナキニ於テハ至急小野ニ必要ナル電訓ヲ發セラル様致シタシ何分ノ儀電報アリタシ  
將又材料ノ件ニ關シ充分 Carey ヲ説得セシメタルニ同人ノ方針ハ支那ノ利益ノタメ出来得ル限り廉価ニテ優良ノ材料ヲ得ル積リナルヲ以テ特ニ米国商人ノタメ利益ヲ圖ラザルト共ニ日本商人ニ對シテモ特殊ノ待遇ヲ与フルヲ欲セズ總テ自由競争ニ一任スル考ナリト語リ尤モ多クノ材料ハ運賃其他ノ關係上日本ニ於テ調達スルコトトナルヘキヲ以テ実ハ横浜ニ於ケル Frazer 商会ヲ日本ニ於ケル購買代理者

ニ任命スルコトニ Corporation ニ推薦中ナリト打明ケ尚三井ノ如キ有力ナル商人ト直接取引スルコトモ一方法ナルヘシト思考シ居ルニ付北京ニ於ケル三井代理者ヲ紹介セラレタント附言セル由ナリ

三七六 一月二十三日 本野外務大臣ヨリ

在米國佐藤大使宛(電報)

山東江蘇兩省運河借款協同問題ニ關シ我方ガ事業上ニモ參加シ両國資本家平等ノ地位ニ立

ツ様交渉方訓令ノ件

附 記一 一月二十日浜岡紐育代理店監督役ヨリ日本銀行本店宛電報

二 一月二十二日日本銀行本店ヨリ浜岡紐育代理店監督役宛電報

三 一月二十六日浜岡紐育代理店監督役ヨリ日本銀行本店宛電報

第二七号

山東江蘇兩省運河借款日米共同ニ関スル一月十一日及一月二十日興業銀行着小野副総裁電報ニ依レハ要スルニ米国側意向ハ両借款公債ノ一部ヲ日本側ニ引受ケシムルニ止マリ何等日本側ヲシテ事業其モノニ参加セシムルコトナキ模様

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ関スル件 三七六

ナル処斯クテハ客年貴電第二〇六号並客年十二月二十一日興業銀行着同副総裁來電所載米國側ヨリ申込當時ノ本借款契約ノ当事者ヲ日米両國資本家ト為サントスル精神ニ相違シ殊ニ御承知ノ通米國側ニテハ新ニ支那政府ト日米両國資本家團体トノ間ニ契約ヲ結ブコトトナスコトニ同意シ右ノ趣旨ニテ其後支那政府ヘ契約更改方内談ヲ試ミタルニ見テモ明ナル如ク両國資本家対等ノ地位ニテ本件借款ヲ共同遂行スヘキコトハ米國側ニ於テ十分承知シ居リタル所ナリ又一面山東運河借款ニ關シテハ山東省ニ關スル我條約上ノ地位ニ顧ミ支那政府ニ警告ヲ發スルノ措置ニ出テ居リタルハ之亦御承知ノ通ニシテ單ニ両借款金額ノ一部ニ參加スルニ止マリテハ山東省運河ニ關シテハ恰カモ日米両國ノ地位主客顛倒スルノ觀ヲ呈シ将来ノ為ニモ甚タ面白カラサル影響ヲ生スヘキ虞アリ旁貴官ハ以上ノ趣旨ヲ小野副総裁ニ詳細説明相成形式如何様ニスルモ差支ナキモ實質ニ於テハ事業上ニモ參加シ事実ニ於テ日米両國資本家平等ノ地位ニ立ツコト肝要ナル旨同副総裁ヲシテ可然米國側ニ通セシメラレ度且貴官ニ於テモ我希望貫徹方精々御尽力相成度シ本件ニ付テハ一月二十二日興業銀行ヨリモ同副総裁ニ電報シタ



三七八 一月二十九日

在米國佐藤大臣(ヨリ)

## 山東江蘇兩省運河借款協同問題ニ關シ我方ノ

実質的事業參加ノ意義ニ付回訓ノ件

第三七号

貴電第二五号ニ閲シ

支那政府トノ關係等ヨリ日米兩國資本家カ相並ンテ支那政府トノ契約ノ当事者トナルコト困難ナルニ於テハ契約ノ形式ハ本件協同ノ関スル限り特殊ノ方式ニ依リ即予メ日本側ノ認諾ヲ經テ米國資本家カ支那政府ト新ニ協定シタル契約ニ基キ米國資本家力更ニ日本資本家ト締約スルコトトナスモ差支ナカルヘシト思考次ニ貴電御來示ノ通工事及会計等ノ監督ノ一部ニ日本人ヲ加ヘ且日本資本家カ本件遂行上米國資本家ト対等ノ發言權ヲ有スルコトトナルニ於テハ日本側ニ於テ工事請負ニ是非共参与センコトヲ求ムル次第ニハアラザルニ付右様御承知アリ度シ實ハ工事及会計等ノ監督ニ日本側ノ參與スルコト等ハ米國側ノ承諾ヲ得ルコト困難ト思考シ居リタル次第ナルカ御來示ニ依レハ之ニ參與シ得ル見込アル様ニモ見受ケラルル処果シテ然ルヤ電報アリ

三三一〇

度シ尚工事ニ付テハ貴電末段ノ如ク最初ヨリ約束セストモ實際工事進捗ノ上ニテ之ニ参加シ得ルニ至ラハ最好都合ニシテ又工事ニ要スル機械材料ノ類モ事實上大部分ハ日本ニ

於テ調達スルコトノ了解ヲ付ケ置キ度シ右ハ運賃其他ノ関係上 Carey ニ於テモ實際ハ左様可相成見込ナル旨我在支那公使館員ニ談話シタル處ニシテ現ニ彼ハ横浜ノ Frazer 商會ヲ日本ニ於ケル購買代理者ニ任命方 Corporation ニ推薦中ナル旨竝本件ニ付在北京三井代表者ニ紹介方希望スル旨ヲモ我館員ニ内話シタル位ナリ因ニ Straight ハ近々日本ニ來航ノ筈ナル趣或ル方面ヨリ内聞セル処右ハ果シテ事実ナリヤ序ノ節電報アリタン

三七九 二月一日 在中國林公使(ヨリ)

## 山東江蘇兩省運河借款協同問題ニ關シ出淵書

記官ヨリ「ケーリ」ニ對シ日本側ノ実質的事業參加ノ希望ヲ述ベタルニ對シ「ケーリ」ヨリ

リ工事利益分配案ヲ切出シタル件

第一一五号

(二月一日接受)

一月三十日「ケーリ」出淵ヲ來訪シ江蘇山東兩運河契約併

合ノ件ハ米国公使ノ尽力モアリ大体支那側トノ間ニ話合付キタルモ約一週間前紐育ヨリ追テ何分ノ沙汰スル迄支那側トノ商議進行ヲ見合スヘキ旨電報アリ其ノ後ニ消息ナキニ付紐育ニ於ケル最近ノ話合ニ関シ何等承知スル所ナキヤト申述ヘタリ依テ出淵ヨリ日本側ニテハ單ニ投資ニ付共同スルノミナラス事業其ノモノニ對シテモ共同シタキ考ニテ其ノ点ニ付目下商議ヲ遂ケ居ル様子ナリト内話シタル所「ケーリ」ハ日本側ノ主張ハ理論上至極尤トハ存スルモ工事ノ請負ハ自分ノ会社ニテ一手ニ引受クルコト相成リ居リ日本側ヲシテ參加セシムルコトトセハ自分ノ理想通り工事ヲ行フコト困難トナルヘキニ付、日米提携ハ元来自分ノ素志ナルモ工事ニ日本ヲ參加セシムルコトハ遺憾ナカラ同意スルヲ得ズ又工事及会計監督ニ日本人ヲ入ルルコトモ徒ニ事ヲ複雜ナラシムルノミナラス支那側ヲシテ同意セシムルコトモ困難ト認メラルニ付日本側ニテ諦メラレンコトモ徒ニ希望スト述ヘタルニ依リ出淵ヨリ兎ニ角日本側ニテハ投資以外ニ事業其物ニ參加シ以テ協同ノ実ヲ收メタキ希望ニ付斯ク何事モ不可能トアリテハ協同ノ話合纏リ兼ヌルヤモ

ヲ希望スト述ヘタルニ依リ出淵ヨリ兎ニ角日本側ニテハ投資以外ニ事業其物ニ參加シ以テ協同ノ実ヲ收メタキ希望ニ付斯ク何事モ不可能トアリテハ協同ノ話合纏リ兼ヌルヤモ

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 三七九

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 三八〇

一一一

テ重大ナル意味ヲ有スル次第故日本側ニ於テ大運河借款契約ナルモノノ米国側单独ニテ支那側ト締結シタル歴史ト独立ニ於テモ理論上山東ニ於ケル投資優先権ヲ主張シ得ヘキ筋合トヲ考慮ニ入レラレ僅ニ六百万弗ノ事業ニ対シ余リ六ヶ敷キ注文ヲ提出スルコトナク大抵ノ所ニテ話合ヲ纏メ紐育peopleニ好感ヲ与ヘラレニコトヲ希望ス尚無遠慮ニ所見ヲ述ブレバ支那官民ノ日本ニ対スル感想ハ概シテ不良殊ニ山東ニ於ケル支那官民ノ日本ニ対スル悪感ハ頗ル痛烈ナルモノアリ從テ山東ヲ通過スル運河ニ対シ日本ト協同スルニ当リ米国側ノ苦衷ハ大ニ諒察ヲ請ハザルヘカラズト切言シタル趣ナリ

三八〇 二月一日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

山東江蘇兩省運河借款ニ關シ「ケーリ」ノ考  
ヘ方ニモ鑑ミ我方ハ此際投資材料ニ対スル協  
同ノ程度ニテ満足シ速ニ妥結スルヲ得策トス  
ベキ旨稟申ノ件

(一月一日接受)

往電第一一五号ニ關シ本使及館員カ從来「ケーリ」トノ会

poration不同意ナルトキハ之モ強テ主張スルニ及ハザルヘシ)ノミニテ満足スルコトニ方針ヲ定メ速カニ米国側ト話合ヲ纏メ之ヲ端緒トシテ支那ニ於ケル米国ノ良好ナル人氣及豊富ナル米国ノ資本ヲ利用シ将来幾多有利ナル事業ニ対シ日米共同ヲ実行シ我對支經營ニ一新生面ヲ拓ク事蓋シ永遠ノ策ナルヘシト思料ス特ニ御一考ヲ乞フ将又 Carey ハ今回紐育ノ招電ニ依リ本月十七日上海出帆ノ「エンプレス、オブ、アジア」ニテ約二ヶ月ノ予定ヲ以テ米国ニ赴クコトニ決定シ居ルニ付横浜寄港ノ際我關係者ニ於テ同人ニ面会シ篤ト所見ヲ交換シ且ツ相当待遇ヲ与フル様可然御取計アラシコトヲ乞フ(奉天経由、二月一日午後六、四〇)

三八一 二月六日 在中國芳沢臨時代理六公使ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

中國運河借款ノ日米協同問題ニ關スル新聞記  
事ニ付「ケーリ」ヨリ漏洩防止方申出並右取  
締方稟請ノ件

第一三三号

往電第一三三号会談後「ケーリ」ハ運河借款協同問題ヲ素破抜タル朝日新聞紐育特電(一月二十九日東京朝日新聞參

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 三八一

談ニテ得タル印象ニ依レハ同人ハ頗フル熱心ナル日米提携論者ナルト同時ニ右提携ノ目的ヲ永遠且完全ニ実現セシムル為ニハ先以テ支那官民ノ日本ニ対スル誤解ヲ一掃スルコト必要ナリト認メ居ルモノノ如ク從テ急遽日米提携ヲ標榜シ支那側ニ刺戟ヲ与フルコトハ成ルヘク之レヲ避ケ徐ロニ共同ノ根柢ヲ堅ムコト得策ナリト思考スト思料シ此ノ見地ヨリシテ運河借款ニ付テモ先づ投資及材料供給ノ程度ニ於テ我國ト共同シ事業其ノモノハ自己ノ理想通り之レヲ实行シ速カニ優良ナル成績ヲ挙ケ以テ支那官民ノ信用ヲ収メ同時ニ日米共同ニ対シ支那側ノ感情緩和ヲ馴致シ将来幾多ノ新事業ニ付完全ナル日米共同ヲ實現セシメタキ希望ヲ懷キ居ルモノト認メラル

従テ此際日本側ニ於テ運河問題ニ關シ事業其物ニ対スル共同ヲ執拗ニ主張スル時ハ徒ニ米國側ノ感情ヲ害シ折角熟シツツアル日米提携ノ新機運ヲ挫折スルカ如キ結果ヲ生スルコトナキヤト懸念セラルニ付運河借款ノ歴史ト山東ニ於ケル我地位ハ武力占領ナル事實ニ基クニ外ナラザルコトヲ考慮ニ入レ結局投資及材料ニ対スル共同(往電第一一五号ノ工事利益分配ニ与ルヲ得ハ好都合ナルヘキモ若シCor.分ニ於テ極力支那新聞ノ緩和ニ努ムヘキモ日本側ニ於テモ淵ヨリ本件ガ事前ニ世上ニ漏レ現ニ不良ナル影響ヲ及ボシ居ルハ頗ル遺憾トスル処ナルニ付今後出来得ル限り注意スヘキモ新聞ノ取締ハ孰レノ國ニテモ困難ナル点アルハ十分諒察アリ度且紐育特電ナルモノハ米人ヨリ得タル報道ニ基クトノコトナレバ米国側ニ於テモ相当注意ヲ希望スト答ヘ置キタル趣ナリ就テハ「ケーリ」ニ説明ノ都合モアルニ付

三三三

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 三八一

一一一四

出来得ベクンバ朝日特電ノ出所可然方法ニテ御突止メノ上電報アリ度ク且申上ル迄セナキ義ナルガ共同問題確定ニ至ル迄ノ間其消息コノ上世上ニ漏レザル様十分取締アランコトヲ希望ス尚日本官露国公使ニ会見ノ際同公使カ特ニ本件並ニ新聞切抜ヲ示シ種々質問スル處アリタルカ如キハ外国人側ガ本件ニ対シ多大ノ注意ヲ拵ヒ居ルノ一証ナリト思考ス

三八一 一月六日 在中国芳沢臨時代理公使<sup>(ヨリ)</sup>本野外務大臣宛(電報)

### 中國運河ノ日米協同問題ニ關スル京津タイム

#### ス紙論評要領報告ノ件

第一三四号

(一月六日接受)

二月五日北京天津「タイムス」ニ掲載セラレタル北京通信員(市俄古「デーリー、ニュース」通信員ヲ兼ヌ)ノ運河問題ニ關スル論評要領左ノ通

大運河日米共同問題ハ支那官場ニ著シキ衝動ヲ与ヘタリ支那人ハ大運河カ米国資本ニ依リ改築セラルモノト思料シ

大ニ満足シ且之ニ依リ山東ニ於ケル日本ノ急劇ナル發展ヲ幾分阻止シ得シト喜ヒ居レリ彼ノ米国カ運河ニ引続キ鉄(別電)

一月七日佐藤大使発本野外務大臣宛電報第四〇号  
小野及ストレート間ニ取纏メラントル三條項

貴電第三七号ニ關シ今般小野ム「ペーネーム」ヘノ間ニ別電第四〇号ノ通リ三條項協議纏マリタル處右各条項ニ対シ御異議無キヤ至急何分ノ御回電アリタシ尚ホ貴電未段ノ件く「X」氏ノ職掌柄東洋ヘ行クヘキ要務多キモ多忙ノ身ナル故何時出発シ得キヤ全然未定ノ模様ナリ

arrangements are calculated profitable for the construction work.

3. When the Japanese Government deem it advisable to recommend the Japanese as an engineer and an auditor, and the Chinese Government consent to such proposals, American International Corporation agree to take necessary steps to recommend and appoint them as the Assistant Engineer and Assistant Auditor, who will rank second to American Chief-Engineer and American Chief-Auditor.

No. 40

一月八日 本野外務大臣<sup>(ヨリ)</sup>在中国芳沢臨時代理公使宛(電報)

### 中國運河借款ニ關ハ小野及ストレート間協定

条項ノ件

第一〇五号(至前)

運河借款ニ關シ在米大使ヨリ別電第一〇六号及第一〇七号ノ通申越シタルニ付当方ニ於テハ別電第一〇七号所載三條項ニ対シ大体同意ヲ与フル積ナル處右ニ關シ何等力御氣付ノ次第アラハ折返シ電報アリタシ

mended by Nippon Kogyo Ginko, whenever such

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ關スル件 三八四

道ニ關スル契約締結シタルカ如キモ恐ラク日本ノ侵略ヲneutralize スルノ考案ニ出テシナラム從テ支那カ運河共同説ヲ耳リシ驚愕ト憤怒ノ念ヲ禁シ得サルハ尤モ至極ナリ今ヤ支那人ハ米国契約ノ利益ヲモ日本ニ分シニアラズヤト懸念シツアリ某法律家ノ説ニ依レハ運河契約ニ對スル日本ノ抗議ナルモノハ十分ナル根拠ヲ欠クトノコトナレハ日本共同ハ必スシモ抗議ノ結果ニハアラザルヘシ支那人ハ之レヲ不可解トシ且米国資本家ノ態度ニ立腹シ居レリ去リナカラ本件ハ日本ヲ Sleeping partner メランマルカ如キ方法ニ依リ支那人ヲナダムル途アルベシ支那ニ於ケル經濟上ノ日米共同ナルモノニシテ共同團体存立シタル後或ル契約ヲ締結シタルモノナルニ於テハ元ヨリ異存アルヘキ筈ナキモ米国資本家ニ於テ契約ヲ締結シ事後ニ之レヲ他ノ國民ニ分ツカ如キハ支那人ノ認メテ以テ正当トナサミル所ナリ云々

三八三 二月七日 在米國佐藤大使<sup>(ヨリ)</sup>本野外務大臣宛(電報)

### 中國運河借款ノ日米協同ニ關ハ小野及ストレート間ニ三條項取纏ノ件

別電 同日佐藤大使発本野外務大臣宛電報第四〇号

一一一五

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 三八五

本野外務大臣宛電報第三九号及第四〇号全文ナリ

三八五 二月九日 在中国芳沢臨時代理公使ヨリ 本野外務大臣宛(電報)

### 小野及ストレート間協定条項ニ関スル件

第一四八号 至急

貴電一〇五号ニ閲シ御来示ノ三条項ハ至極結構ニ有之但運河借款ナルモノハ支那官憲ト「コーポレーション」トノ約束ニテ我方ニテ參加スルハ日本興業銀行ナルニ顧ミ第三条ノ「ジャパンス、ガバメント」ハ興業銀行ト改ムルコト可然ト思考ス

三八六 二月九日 本野外務大臣ヨリ 在米國佐藤大使宛(電報)

### 小野及ストレート間協定条項中ノ用語ニ付問合ノ件

第五〇号

貴電第四〇号第一項 control supervision トアルハ山東契約第四条ニ規定セル収入不足ノ場合ノ収入ノ supervision ヲ意味シ又第三項ノ auditor トハ第六条ノ Accountant ハ意ニシテ客年四月十九日付 American International Cor.

第五一号

貴電第三九号ニ閲シ貴電第四〇号ノ各条項異存ナシ但シ第三項ニ日本政府トアルハ本借款カ支那政府ト「コーポレーション」トノ契約ニテ我方ニテ參加スルハ興業銀行ナルニ顧ミ「興業銀行」ト訂正スル方然ルヘシト思考ス尚一月十九日小野ヨリ興銀總裁宛書翰添付日米間契約草案ニハ( )借款資金ヲ日米両国銀行ニ預入ルルコト(第三条)並( )「システムス、ケーリ」工事手数料中「コーポレーション」ノ受クヘキ利益金ヲ五七ノ割合ニテ分配スヘキコト(第四条)等日本側ニ有利ナル規定アル処右ハ貴電第四〇号所載ノ三

項以外ニ均シク米国側ノ同意セル所ナリト當方ニテハ了解シ居レルガ貴電第四〇号ノ各条項ト前記小野ヨリ興業銀行

総裁宛契約草案トハ如何ナル關係ト相成ル次第ナルヤ電報アリ度シ

三八八 二月十四日 在米國佐藤大使ヨリ 本野外務大臣宛(電報)

### 小野及ストレート間取纏条項ハ義ニ彼我間協議済ノ諸条件ト共ニ日米契約ヲ形成スル旨回

申ノ件

(一月十六日接受)

貴電第五一号ニ閲シ往電第四〇号ノ三条件ハ從來小野ニ於テ先方ト相談済ノ有利ナル諸条件(貴電御来示ノ分ヲモ含ム)ト共ニ日米契約ヲ形成スル義ト御承知アリタシ尚ホ貴

電第五四号ニ閲シ貴電第三七号ノ件ハ往電第三九号ノ通りニテ日本側監督ノ参加ハ支那政府ニテ異議ナキ限り出来得キ見込ナリ(十四日正午発)

三八九 二月十四日 在米國佐藤大使ヨリ 本野外務大臣宛(電報)

### 小野及ストレート間取纏条項中ノ疑義ニ付回

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 三八八

三八六 三八七

poration ヨリ山東巡按使宛書翰ニ記載セル auditor ノ意ニアラズト察セラル、処果シテ然ルヤ當方ニテハ江蘇契約ノ英文ヲ入手シ居ラザル為其邊確カナラザルニ付何分ノ義折返電アリタシ

三八七 二月十二日 本野外務大臣ヨリ 在米國佐藤大使宛(電報)

小野及ストレート間取纏条項ニ異存ナキ旨回訓並右条項ト日米契約草案トノ関係ニ付問合ノ件

三八九 三九〇

三三七

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ閑スル件 三九一

三九二

三三八

ノ向ヘ御交渉ヲ請フ

三九一 二月十五日 在中國芳沢臨時代理公使ヨリ

山東江蘇兩省運河借款契約併合不成功ノ原因

其他ニ閑シケーリ出淵書記官ニ内話ノ件

第一八一号

(二月十六日接受)

二月十四日夜 Carey 出淵ヲ來訪會談要領左ノ通り

(一) 山東江蘇兩運河契約併合ノ件ハ出發前是非解決ヲ図リタルモ日米協同ノ消息漏洩シ反対論起リタル結果支那官憲ノ態度聊カ変調ヲ來タシ現ニ今夜潘復トノ最後ノ談判ニ於テ遂ニ何等纏マルニ至ラズ尚支那側ヨリ最近ニ至リ意外ニモ日本ノ外支那ニ於テモ公債ヲ発行スヘキコトヲ提議シ來リ結局「コーポレーション」ニ於テ其引受高米貨三百五十万弗ノ内百万弗文支那ニテ募集スルコトニ折合フ積ナルニ付其内何トカ解決ノ途アルヘン尤モ右ハ呉々モ秘密ニ願ヒタシ

(二) 最近漢口正金支店ヨリ当地支店ヘ漢治萍公司ハ米国資本團ニ向ヒテ武昌大冶間ノ鐵道敷設ヲ申込ミタリトノ情報ア

リ尚米國ハ新ニ他ノ方面ニ於テ一線ヲ得タリトノ情報モアルニ付岡淵ヨリ夫レトナク尋ネタルニ「ケーリ」ハ武昌大治線ニ就テハ全然承知スル所ナキモ自分ノ会社ハ最近新タニ襄陽ヨリ京漢線広水駅附近(地点未定)ニ至ル約八十哩ノ一線ヲ獲得セリト語レリ

(三) 最後ニ岡淵ヨリ愈々米獨間ニ開戰ヲ見ルコトモナラバ支那ニ於ケル鐵道運河ニ對スル放資上差シ障リヲ來スカ如キコトナキヤト尋ネタルニ「ケーリ」ハ「ウイルソン」カ今回突如如對獨國交斷絶ヲ宣言スルニ至リタルハ墨西哥問題ニ對スル失敗ヲ償ハントノ動機モ手伝ヒ居ル次第ニテ米人殊ニ実業家ノ多数ハ出來得ル限リ戰爭ヲ避ケタキ希望ナリ最近米國ヨリ仏國ニ向ヒタル三隻ノ商船ニシテ擊沈セラルガ如キコトナキ限リ差當リ宣戰ヲ見ルニ至ラザルベシ不幸ニシテ開戰トナルモ運河借款ノ如キ少額ノ放資ニハ何等影響ナカルヘク又鐵道借款モ大体米貨五千万弗位ノ予定ニテ而カモ工事ノ進行ニ伴ヒ數回ニ分割發行セラル皆ニ付此又格別ノ影響ナカルヘシト語レリ (奉天經由二月十五日後九、五〇)

三九一 二月一十六日 在中國佐藤大使ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

第三一号ノ別電一號

(三月五日接受)

第六五号

貴電第六三号ニ閑シ當方申込ノ件總テ承諾シ二十八日調印ノ筈ナル旨小野ヨリ報告アリタリ契約書写ハ入手次第郵送スヘシ

註

二月二十四日本野外務大臣發在米佐藤大使宛電報第六三号全文左ノ通

「山東江蘇兩運河借款契約ノ件ハ其後如何進行シ居レルヤ成行回電アリタシ」

三九三 三月三日 在中國佐藤大使ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

興銀及米國國際公社間協定調印延期ノ件

第七五号

往電第六五号ノ件社長旅行中ノ為三月七日ニ調印ヲ延期セリ

三九四 三月三日 在中國伊集院大使ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

在伊國米大使中國ニ於ケル日米提携ノ必要強

調ニ閑シ報告ノ件

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ閑スル件 三九三

三九四

三三九

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 三九五

深ク日本ニ信頼スルモノナリト真摯ナル内話ニ付本使ハ深ク其ノ好意ヲ謝シ同時ニ種々ノ情報ニ拠レバ日米關係益々

円満ニ赴キツツアリ日本ハ同大使ノ希望ニ背カザルヘシト  
挨拶シ置ケリ

尚英國ノ輸入禁止ノ件ニ関シ先方ヨリ別電二号ノ通話アリ  
タリ

三九五 三月十一日 在米國佐藤大使(ヨリ)  
本野外務大臣宛(電報)

山東江蘇兩省ノ運河借款ニ關スル興銀及米国  
國際公社間契約調印済並該協定要領報告ノ件

第九六号

(三月十二日接受)

貴電第七一号ニ関シ此種對外契約ハ先方ニテ初テノ由ニテ專門法律家ノ手ニ掛タル等手続ニ念ヲ入レタル為從來打合セ濟ノ文句ハ多少修正サレ九日午後漸ク International Corporation (以下Aト称ス)ト日本興業銀行(以下B)トノ間ニAハ「ストーン」ノ署名「ストレート」ノ副署、Bハ小野ノ署名ニテ調印ヲ了セリ右契約ハ「ブリアンブル」ノ外六個条ヨリ成リ之ニ支那政府ト新ニ訂結スベキ契約案ヲ附屬セシメアリ「ブリアンブル」ニハ從來山東江蘇兩省

之ニ當ルコト

第三条 (イ)借款額ハABノ閏スル限り一千二百萬円ト定メ

置クコト

(ロ)米国人技師長ハ工事ノ監督ニ当リ米国人会計長ハ収支

ノ監督ニ當ルコト

(ハ)「シームス、ケリー」会社ヲ工事受負者ニ指名シ其受

負及ビ作業施行ノ為要スル人員監督ヲナサシムルコト

第四条 別電第九七号(註)ノ通り

第五条 (イ)Bハ「シームス、ケリー」会社ガ工事費用ノ一

割ヲ受負費トシテ收得スルコトヲ承諾ス

(ロ)Aハ工事ヨリ收得スヘキ其利益ノ十二分ノ五ヲBニ与

ヘBハ此以外ニ利益ノ分配ヲ受ケズ

(ハ)Aガ現在及ビ将来「シームス、ケリー」会社ニ対シ有

スル権利益ハ本契約ノ為Bハ之ニ参加權ヲ得タルモノ

ト見做スヲ得ズ

第六条 支那政府トノ交渉結了シ東京ニ於テ公債ノ一部ヲ

発行スルニ至リタル時ハ從来ノ山東江蘇兩契約ト今回ノ

新契約訂結ノ為並ニB加入ノ為及ヒ公債發行ノ手續ヲナ

ス為ニ要シタル費用ヲ七十五トノ比例ニ依リAB間ニ分

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 三九六

三四〇

トノ運河契約ヲ引用シ右ヲ合体セル契約ニ支那政府ノ承認ヲ条件トシテ本契約ヲ履行スヘキコトヲ述ヘ以下要領左ノ如シ

第一条ハ別電第九七号(註)ノ如ク

第二条ニハA及Bハ合同又ハAノ単独ニテ支那政府ニ対シ江蘇契約ヲ基礎トセル別添契約訂結ヲ提議スペク公債發行ノ条件ハ

(イ)A七百万円B五百万円ヲ引受クルコト

(ロ)東京紐育ニテ同時ニ發行スルコト

(ハ)發行ノ責任ハ各自単独ニ之ヲ負フコト

(イ)發行ノ利益及び費用モ亦同断

(ロ)紐育及ビ東京株式取引所ニ上ボス様尽力スルコト

(ハ)弗ト円トハ一トニトノ割合トナス様支那政府ニ交渉スルコト

(イ)公債応募金ハ先ツ各自ノ市場ニ留置キ工事進行ノ必要ニ

応シ双方比例的ニ支那政府ニ支出シ其支出金ハ實際消費

セラル迄ハAB各自ノ在支那取引銀行ニテ保管スルコト

(ハ)公債元利支払ハ紐育ニテハ「シチ」銀行東京ニテハB

契約文早便郵送ス

註 別電第九七号省略ス同別電ノ(イ)及(ロ)ハ夫々次掲三九六文書

附屬書ノ第一條及第四條ノ全文ト同文ナリ

三九六 三月十二日 在米國佐藤大使(ヨリ)  
本野外務大臣宛

山東及江蘇兩省ノ運河改修借款ニ關スル興銀  
及米国國際公社間契約正文送付ノ件

機密第三四号

(四月九日接受)

大正六年三月十二日

特命全權大使 佐 藤 愛 磨(印)

外務大臣法學博士子爵 本野 一郎殿

「アメリカン、インターナショナル、コーポレーション  
ヨン」ト日本興業銀行間ニ締結ノ支那運河借款契約

書送附ノ件

本件ニ付テハ今回電報ヲ以テ大要及申報置候處右契約書及  
附屬書正文ハ別紙ノ通リニ有之候ニ付写二通茲ニ及御送附

右契約書<sup>ハ</sup>附屬書<sup>ハ</sup>略

(註記)

日本丸田調臣<sup>ハ</sup>山東及江蘇區<sup>ハ</sup>運河改修借款<sup>ハ</sup>認<sup>スル</sup>件<sup>ハ</sup>銀業  
銀行及米國國際金融社團契締結文書

AGREEMENT

between the  
AMERICAN INTERNATIONAL  
CORPORATION

and the

INDUSTRIAL BANK OF JAPAN

for Cooperation, with the Approval of the Chinese Government, in Undertaking the Improvement of the Sections of the Grand Canal in the Provinces of Shantung and Kiangsu in the Republic of China.

WHEREAS, the American International Corporation, through its representatives in China, on April 10th, 1916, concluded with the Government of the Province of Shantung, a contract for the issue of \$ 3,000,000. seven per cent. (7%) bonds, the proceeds from the sale of which were to be utilized for the improvement of the section of the Grand Canal in the

Province of Shantung, and

WHEREAS, it is now proposed that, if the Chinese Government in principle approves such cooperation, the American International Corporation and the Industrial Bank of Japan shall associate themselves together, as hereinafter provided, in the carrying out of this work of Canal Improvement, and through the negotiation of a single contract providing for the improvement of the sections of the Grand Canal in the Provinces of Shantung and Kiangsu, and the issuing of bonds to furnish the funds for such improvement to cover the projects and contracts above described and to supersede such contracts,

IT IS NOW AGREED, by and between the parties hereto, as follows:

ARTICLE I. The American International Corporation will jointly with the Industrial Bank of Japan negotiate with the Chinese Government for a single contract providing for the improvement of the sections of the Grand Canal in the Provinces of Shantung and Kiangsu, or if the Chinese Government prefers, the American International Corporation will alone conduct negotiations for the contract contemplated, stipulating in such contract that financial interests other than the American International Corporation may, with the consent of the Chinese Government, be admitted to a participation in the issue of bonds thereunder, it being understood that the Industrial Bank of Japan shall, with the approval of the Chinese Government, be so admitted, in which case the American International Corporation through its representatives will keep the Industrial Bank of Japan advised as to the terms of the contract under discussion.

ARTICLE II. The American International Corporation, jointly with the Industrial Bank of Japan or alone as the case may be, shall propose to the Chinese Government as a basis for negotiations, a contract which shall follow the general lines of the contract for

the improvement of the Kiangsu section of the Grand Canal, and the American International Corporation and the Industrial Bank of Japan agree, as between themselves, that the draft contract (copy of such suggested draft being appended hereto) set forth the general principles upon which they are willing jointly to undertake to issue the bonds contemplated thereunder, it being understood by and between the American International Corporation and the Industrial Bank of Japan that :

- A. Of the total contemplated issue of U. S. gold dollars \$ 6,000,000. (or approximately gold yen 12,000,000), the American International Corporation shall purchase and arrange for the issue of U. S. gold dollars \$ 3,500,000. and the Industrial Bank of Japan shall purchase and arrange for the issue of U. S. gold dollars \$ 2,500,000. (or approximately gold yen 5,000,000.)
- B. Bonds are to be issued simultaneously in Tokyo and New York, the American International Corporation and the Industrial Bank of Japan to agree as to the issue price of the bonds in their respective markets.

C. The American International Corporation and the Industrial Bank of Japan are to issue, or to arrange for the issue of, bonds of the Chinese Government in their own markets, without responsibility to each other.

D. All profits to be derived from and all expenses incurred in connection with, the issue of bonds in New York and Tokyo respectively, are to be received and paid by the American International Corporation and/or its associates, and the Industrial Bank of Japan and/or its associates, independently and without responsibility to each other.

E. The American International Corporation (or its associates through whom the issue on the New York market may be made) is to endeavor to arrange that the entire issue of U.S. gold dollars \$6,000,000. (or approximately gold yen 12,000,000.) shall be listed on the New York Stock Exchange, and the Industrial Bank of Japan, and/or its associates, to endeavor to arrange that the entire issue of U.S. gold dollars \$6,000,000. (or approximately gold yen 12,000,000.) shall be listed on the Tokyo Stock Exchange.

### ARTICLE III.

(a) The American International Corporation and the Industrial Bank of Japan agree, as between themselves, that the loan shall be for a par value of U.S. gold dollars \$6,000,000. (or approximately gold yen 12,000,000).

(b) An American chief engineer shall have charge of the improvement work and an American chief auditor shall have charge of all receipts and disbursements contemplated thereunder.

(c) The Siems-Carey Railway & Canal Company shall be designated as contractors to undertake the improvement work, and shall have entire charge of the personnel of the contracting and construction staffs.

ARTICLE IV. By virtue of its issue of bonds under the loan agreement to be concluded, whether such loan agreement be negotiated jointly by the American International Corporation and the Industrial Bank of Japan or by the American International Corporation alone, participation thereunder of the Industrial Bank of Japan being subsequently arranged, the American

G. The American International Corporation is to endeavour to arrange that the Chinese Government shall for this transaction make a fixed rate of exchange as between U.S. gold dollars and gold yen on the basis of two gold yen to one United States Gold Dollar. The Industrial Bank of Japan shall join in such endeavour if the contract is negotiated jointly.

H. Loan proceeds are to be deposited in New York and Tokyo in proportion to the amounts issued in the United States and Japan respectively, and are to be transferred to China in proportionate amounts to meet expenditures for improvement work. Funds so transferred to China are to be held in China by the International Banking Corporation and a Japanese bank to be designated, until such funds are withdrawn for the purpose contemplated and in the manner provided by the contract.

I. Principal and interest of the bonds are to be payable at the offices of the National City Bank in New York or of the Industrial Bank of Japan in Tokyo, in dollars and yen respectively.

International Corporation will cooperate with the Industrial Bank of Japan in all matters arising under the contract.

In order that Japanese industry may have an opportunity to profit in proportion to the amount of capital subscribed by Japanese investors in the bonds to be issued for the improvement of the Grand Canal, Japanese material shall at equal prices, quality and delivery be given equal preference with American materials and wheresoever in the judgment of the Siems-Carey Railway & Canal Company the interests of the Chinese Government may best be served and the progress of the work be facilitated, sub-contracts shall be awarded to Japanese sub-contractors to be recommended by the Industrial Bank of Japan.

If and when the action shall be agreeable to the Chinese Government and the Industrial Bank of Japan requests that such action shall be taken, the American International Corporation agrees to take all necessary steps possible to recommend and secure the appointment of a Japanese Assistant Engineer and a Japanese Assistant Auditor who will respectively rank second to the American Chief Engineer and the American

Chief Auditor.

ARTICLE V. The Industrial Bank of Japan agrees that the Siems-Carey Railway & Canal Company shall receive for their services as contractors for the Canal Improvement, the ten per cent of the total cost of such canal improvement work provided for under the original agreements referred to in the preamble hereof.

Moreover, since the Industrial Bank of Japan is to share, with the American International Corporation, those financial obligations imposed by the canal contracts, it is hereby agreed that the Industrial Bank of Japan shall participate in the benefits derived from the construction profits or the contracts, and that to carry out this participation the Industrial Bank of Japan shall receive a sum equal to five-twelfths of the total amount of the canal construction profit dividends declared and payable to the Corporation by the construction company, such amounts to be paid when and as the canal construction profits are distributed, and such payments to constitute the sole participation due or to be claimed by the Industrial Bank of Japan in such benefits.

It is further understood and agreed by and between

poration in conducting the negotiations for the two contracts referred to in the preamble of this agreement, in the negotiations for the single contract for a loan for the improvement of the Grand Canal, in arranging for the participation of the Industrial Bank of Japan in the new contract now contemplated, and in perfecting all arrangements for the issue of the bonds, including the drafting, framing, printing, et cetera, of the bonds wherever and whenever such arrangements are of use to both the American International Corporation and the Industrial Bank of Japan, IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, being duly authorized by the American International Corporation and the Industrial Bank of Japan respectively, hereunto affix our hands and seals, this ninth day of March 1917.

第五七二

山東運河借款ニ関シ「ストレート」カ本日本官ニ直話シタ  
ル所左ノ通り  
運河借款法不日支那議会ニ提出ノ筈ナル處支那政府ハ該法  
案ノ内山東江蘇ノ運河トアリタルヲ山東直隸ノ運河トシ江  
蘇ハ「オプション」ノ形ニ於テ留保シ又公債發行ニ關シテ  
ハ一定額ヲ米國ニ於テ發行シ残余ノ額ヲ他ノ國ニ於テ發行  
ストシ法文上日本ヲ特定セザルコトトシ尚ホ担保トシテハ  
印紙税ノ代リニ地租ヲ充当スル旨在北京「アメリカン、イ  
ンターナショナル、コーポレーション」ノ代表者ヨリ數日  
前電報シ来リタルニ依リ夫ニテ差支ナシ但シ北京日本公使  
トモ打合ハセヨ為スベシト三月二十三日返電シ置ケリ  
註 右電報ニ閏シ三月二十七日矢田總領事發本野外務大臣宛電  
報第五九号ヲ以テ左ノ通り訂正シ來レリ

代リニ印紙税云々ノ誤

三九七 三月二十六日 在紐育矢田總領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

中国政府ハ山東江蘇兩省運河借款ヲ山東直隸

西蜀通志

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 三九七

三九八

山東運河借款ニ関シストレートノ矢田總領事  
ニ対スル内報中若干ノ点ニ付事情確メ方訓令

本野外務大臣ヨリ  
在中國公使宛(電報)

第五七号  
山東運河借款ニ閔シ「ストレート」カ本日本官ニ直話シタ  
ル所左ノ通り  
運河借款法不日支那議会ニ提出ノ筈ナル処支那政府ハ該法  
案ノ内山東江蘇ノ運河トアリタルヲ山東直隸ノ運河トシ江  
蘇ハ「オブシヨン」ノ形ニ於テ留保シ又公債發行ニ閔シテ  
ハ一定額ヲ米國ニ於テ發行シ残余ノ額ヲ他ノ國ニ於テ發行  
ストシ法文上日本ヲ特定セザルコトシ尚ホ担保トシテハ  
印紙税ノ代リニ地租ヲ充当スル旨在北京「アメリカン、イ  
ンターナショナル、コーポレーション」ノ代表者ヨリ数日  
前電報シ來リタルニ依リ夫ニテ差支ナシ但シ北京日本公使  
トモ打合ハセヲ為スベシト三月二十三日返電シ置ケリ  
註 右電報ニ閔シ三月二十七日矢田總領事發本野外務大臣宛電  
報第五九号ヲ以テ左ノ通り訂正シ来レリ  
「往電第五七号中印紙税ノ代リニ地租ヲ充当云々ハ地租ノ  
代リニ印紙税云々ノ誤」  
三九八 三月二十七日 本野外務大臣ヨリ  
在中國林大使宛(電報)  
山東運河借款ニ閔シストレートノ矢田總領事  
二対スル内報中若干ノ点ニ付事情確メ方訓令

constituted to give to the Industrial Bank of Japan, any rights or interests whatsoever or any voice in the control, management, or disposition of such stock so owned or acquired, or in the affairs of the Company itself.

ARTICLE VI. When, subsequent to the conclusion of the contract between the American International Corporation and the Chinese Government for the improvement of the Grand Canal hereinabove referred to, the American International Corporation shall arrange with the Industrial Bank of Japan for the issue in Tokyo of a portion of the bonds contemplated for the improvement of the Grand Canal, the Industrial Bank of Japan shall reimburse the American International Corporation in the proportion of 7 to 5 for all expenses incurred by the American International Cor-

三四七

ノ件

第一一七〇号

在紐育矢田總領事來電第五七号末段ニヨレク International Corporation ハ在北京代表者ニ対シ本件ニ關シ貴官トモ打合セラ為スヘキ旨回訓シタル由ノ處該電報所載ノ江蘇省ノ分ヲ「オプション」ノ形ニ於テ留保スルハ我方ニ不利益ヲ來ス義ニ有之又担保トシテ地租ヲ充当ストアルモ地租ハ今次ノ大借款ノ担保タラシムルコトニ倫敦會議ニテ決定セル關係モアリ右等ノ変更ハ我方ニ取り不鮮利害關係アル義ト存セラル、ニ就テハ右様變更ヲ加フルニ至リタルハ如何ナル事情ニ原由スル次第ナルヤ將又直隸省ヲ加フルニ至レル事情如何竝印紙稅云々トアルモ印紙稅ハ当初ヨリ本件借款ノ担保ト成リ居ラザル筈ナル処右ハ如何ナル次第ナルヤ右諸点ニ付御確メノ上電報アリタシ

註 前掲三九七文書ノ註参照

三九九

三月三十日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

山東運河ニ閩スル米中間新契約締結方及日本  
協同ニ付中國側承諾ノ旨米國側代表者ヨリ内

テ支那側ト打合セタル方針ニテ進行シ然ルヘキ旨ヲ答ヘ尚

本問題研究上必要ニ付英文契約書写交付方ヲ求メタルニ直ニ紐育ニ電照ノ上交付スル様致スヘキコトヲ約セリ將又先方ヨリ運河問題ニ關スル日米間商議ノ消息屢本邦新聞紙ニ依リ外間ニ洩レ北京ニ於ケル商議ニ累ヲ及ボシ居ル事情ヲ述ヘ日本側ニテ此上トモ秘密ヲ守ラレタキ旨特ニ申出デタルニ付本使ヨリ右ハ為念早速帝國政府ニ電報スヘキモ Corporation 側ニテモ充分注意スル様本部ニ電報然ルヘキ旨ヲ答ヘ置キタリ(奉天經由三月三十日後八、二〇)

註 本野外務大臣収林公使宛電報第二六七号トハ在紐育矢田總領事發本野外務大臣宛來電第五七号全文(三九七文書)ヲ

三月二十七日転電シタルモノナリ

四〇〇 三月三十日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

米中間ニ新ニ締結セラルベキ山東運河借款契  
約關係法案ノ要点報告ノ件

第四四三号

(三月三十一日接受)

ト山東運河契約ノ規定ニ基キ改メテ中央政府トCorporation ムノ間ニ契約ヲ訂結スル為支那政府ニ於テ何某ヲ代表

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 四〇〇

話ノ件

(三月三十一日接受)

第四四一號

貴電第一一六七号ニ閩シ二十九日 Corporation 北京代表者 Gregory 法律顧問 Austin 同道本使ヲ來訪シ大要左ノ通内報セリ

山東江蘇兩運河契約併合ノ件ニ付先般來支那側ト交渉ヲ重ネタルモ(江蘇省官民共ニ自力ニ依リ運河改修ヲ完成シタキ希望ヲ有シ居リ既ニ六十萬弗ノ工面ヲ為シ依然 Corporation ト水利局トノ既成契約ニ反対シ居ルコト)山東運河契約、Corporation ヶ山東地方官憲トノ契約ナルタメ中央ニ於テ勝手ニ之ヲ処置シ得サルコト等ノ關係ニ依リ遂ニ支那側ヲ説得スルコトヲ得ズ結局支那側ヲシテ大要別電第四四三号ノ如キ議案ヲ国会ニ提出セシメ国会ノ同意ヲ得次第新契約ヲ締結シ日本側トノ共同ノ目的ヲ達成スルコトニ略ボ承諾セシメタル旨ヲ内話シ右ノ方針ニテ進行シ然ルヘキヤニ付本使ノ意見承知シ度趣ヲ申出タリ

依テ本使ヨリ貴電第二七〇号御訓令ノ次第モアリ別電第四四号ノ通種々ノ点ニ付質問ヲ為シタル上本日會談ノ次第ハ早速帝國政府ニ報告スヘキモ免ニ角 Corporation ハ於Corporation ハ向ヒテ借款ヲ商議スルコト

者ニ任命スルコト

(一)右新契約ノ金額ヲ米貨六百万弗ト定メ内三百五十万弗ヲ米國ニ於テ残リ二百五十万弗ヲ米國以外ノ市場ニ於テ募集スルコト尚担保トシテ印紙稅ヲ提供スルコト

(二)右金額中山東省内ノ運河改修ニ費シタル殘額ヲ以テ直隸省内ノ運河ヲ改修スルコト

(四)江蘇省内ノ運河改修ニ關シ外資ヲ要スル場合ニハ先ツ Corporation ハ向ヒテ借款ヲ商議スルコト

第四四四号

(問) 中央政府ニ於テ Corporation ト新契約訂結ノ為代

表者任命等ノ議案ヲ国会ニ提出シ其同意ヲ得ルトスルモ新契約ニ付重ネテ国会ノ同意ヲ求メザルベカラザルコトトナラズヤ

(答) 山東契約ナル既定ノ契約ニ基クコトヲ条件トシ且該契約ヲ議案ニ添付シテ提出スル考案ニ付国会ニ於テ之ニ同

四〇一

三月三十日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

米中間ニ新ニ締結セラルベキ山東運河借款契  
約關係法案ニ關シ米國側代表者ト問答ノ件

三四九

意セバ新契約ニ付キ重ネテ同意ヲ求ムル必要ナキ見込ナリ  
 (問) 曾テ Carey ノ出淵ニ内話セル所ニ拠レバ支那側ニテ借款金額ノ若干ヲ支那内地ニテ募集シタキコトヲ主張セル趣ナルガ右ハ如何ナリタルヤ  
 (答) 支那側ヨリ今回何等左ル申出ナシ

(問) 印紙税ヲ提供セシムルコト、ナシタル理由如何  
 (答) 山東契約中ニ担保トシテ運河改修ニ伴フ官民所有地ニ対スル增收ノ外不足ノ分ハ地租ヲ充当スルコト、ナリ居ルモ支那側ヨリ地租ノ代リ印紙税ヲ充当スベキ旨申出デタリ

(奉天経由三十日午後九、一〇)  
 四〇一 三月三十日 在米國佐藤大使(ヨリ)  
 本野外務大臣宛(電報)  
 米中間ニ新ニ締結セラルベキ山東運河借款契  
 約関係法案ニ關シストレートヨリ内報ノ件

第一一九号 (三月二十一日接受)  
 在紐育總領事ヨリ閣下宛電報第五七号ニ關シ田中ガ他用ノ序ヲ以テ「ストレート」ヨリ聽取り其後書面ニテ確メタル処ニ依レバ在支「インターナショナル」代表者ハ今回支那

政府ニ於テハ本件ニ關シ左記ノ条項ヲ有スル議案ヲ国会ニ提出スルノ議アル旨ヲ報告シ尚日本ニ於テ financial 以外ニモ加入ヲ主張スルニ於テハ本件成立ハ困難ナル見込ナリト電報シ來レリ其条項ハ  
 一、山東運河契約ハ中央政府ノ手ニテ訂結スルコト  
 二、右新契約ニハ天津ニ至ル直隸省運河ヲモ包含セシムルコト  
 三、江蘇省ノ分ハ option トシテ残シ置クコト  
 四、先ツ三百五十万弗ノ公債ヲ發行シ其後ハ必要ニ応ジ發行スルコト  
 五、現在山東契約及附屬往復文書ニ依リ運河ノ収入以外地租ヲモ担保ニ供ストアルヲ印紙税ニ代フルコト  
 六、「インターナショナル」ハ發行公債額ノ十二分ノ五迄ハ紐育以外ノ市場ニ売出シ得ルコトニ他ニ協定シ差支ナキコト

日本公使ト打合セスヘキ旨回電シタル趣ニテ日本公使ヲ指シタルハ小野氏ト通信スヘキ方法ナカリシタメナリト曰ヒタリ尚其際余談トシテ「ストレート」ハ日本政府ニ於テハ此際鬼ニ角 financial 丈ケ共同シテ満足セラレ事件ノ進行ヲ容易ナラシムルヲ希望ス在支那日本公使及小野氏モ同意見ナリト思考スト述ヘタルニ依リ田中ハ右ハ日本政府ニ於テ最モ重キヲ措ク点ニテ単ニ金錢上ノ共同ニテ満足スルハ困難ナリト思考スルモ鬼ニ角互ニ本件ノ成立ヲ希望スル次第ナルニ付今後共充分打合度旨一応挨拶シ置キタリ

四〇三 四月十二日 在本野外務大臣(ヨリ)  
 在中國林公使宛(電報)

### 山東運河借款契約ニ關スル米中間交渉ハ印紙

税問題以外ハ總テ協議済ナル旨米国側ヨリ内報ノ件

第五〇六号 (四月十四日接受)

貴電第三一九号ニ關シ四月十三日「オースチン」ノ芳沢ニ語ル所ニ拠レバ往電第四四二号ノ通「コーセーリッシュン」ニ於テ支那側ト打合セタル方針ニテ話ヲ進メ可然旨本使ノ言モアリタルニ付其後支那側ト往電第四四三号ノ議案ニ付商議ヲ繼續シタルニ支那側ニ於テハ最初六百万弗ハ小額ニ過グトノ意見ナリシモ結局之ヲ承諾シ且其内二百五十万弗ハ實際ニ於テハ日本ニ於テ募集スルモノナルコトヲモ承認シタリ又担保トナリ居ル運河並ニ開墾地ヨリ生スル収入ト印紙税トノ二者ノ内前者ハ勿論「コーセーリッシュン」自ラ徵収ニ干与スベキモ印紙税ニ就テハ(一)支那側ニ於テ「コーセーリッシュン」ガ印紙税ノ徵収ニ干与スルコトナキヲ希望シ「コーセーリッシュン」側ニ於テモノソレニテ差支ナキ意図ナルガ支那側ニテハ今ヨリ書面ニテ其旨声明センコトヲ要求セルモ「コーセーリッシュン」側ニテハ尚之ニ応セズ(二)支那側ニテハ印紙税ノ収入ハ約千四百萬元ノ高ニ達スルヲ以

四〇四 四月十三日 在中國林公使(ヨリ)  
 在本野外務大臣(電報)

四〇四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 四〇三

テ補助担保トシテハ多額ニ過グルガ故其一部分ヲ以テ担保ニ提供スルコトト為度ト主張シ「コーコーポレーシヨン」側ニ

テハ印紙税ノ収入ハ将来増加ノ見込アランモ現在ニ於テハ

先ヅ四五百万元位ノモノニ付一部分ヲ以テ担保ニナスコト

ニハ同意シ難シト主張シ即チ印紙税ニ閑スル以上ノ二点ノ

ミニ付尚両者ノ話合纏リ居ラザルモノニシテ其他ハ總テ協

議済ナリ尚右二点ニ付テモ目下旅行中ノ潘復数日中ニ帰京

ノ筈ニ付其上ハ協議成立スペク同人ニ於テハ現ニ契約ノ腹

案(「オースチン」ハ江蘇契約ハ瑕瑾尠キモ山東契約ハ頗ル

不出来ニ付新契約ハ江蘇契約ノ長所ヲモ十分ニ參酌スル積

ナリト語リタル由)略示出来上リ居ルニ付議案ニ閑スル商

議決了ノ上ハ双方ノ談判委員丈ニテ新契約案ニ Initials ヲ

附スルコトトシ議案ニシテ議会ヲ通過スル節ハ直ニ契約ニ

調印スル所存ナルガ要スルニ交渉ハ先ツ大体順調ニ進行シ

居レリトノコトナリ尚江蘇山東西契約英文「コーコーポレーシ

ヨン」側ヨリ入手セルニ付写郵送スヘシ

註 右電報ハ四月十四日本野務大臣発在米佐藤大使宛電報第一一四号ヲ以テ全文転電セラレタリ

#### 第五〇七号

(四月十四日接受)

往電第四四二号ニ閑シ運河改修区域ハ黄河以北天津迄延長セラルコトトナリタル处在濟南領事ノ意見ニ依レハ右区域中黄河ヨリ臨清迄ハ全然閉塞シ臨清德州間ハ半閉塞、德州天津間ハ現ニ民船通行シ居ル実況ナルヲ以テ黄河以北天津迄開通スルコトトナラバ山東省西部ノ物資ハ多く天津ニ吸收セラルニ至ルヘキヲ以テ先ツ黄河以南江蘇境迄ニ止メ運河ノ改修ニ依ル經濟上ノ利益ヲ山東鉄道ニ依リ青島ニ引入ル様致シタシトノ事ナルガ右ハ一応尤ノ説ニ相違ナキモ「コーコーポレーシヨン」ト支那側トノ商議ノ行懸乃至日米間ノ關係ニ顧ミ右ノ如キ説ヲ行ハントスルハ少シク手前勝手ノ嫌アリテ頗フル面白カラザルノミナラズ天津ニ於ケル日本ノ貿易ハ他国ニ比シ今後益々多大ノ伸張ヲ為スヘキコト從来ノ歴史ニ依リ明白ナル次第ニテ山東物資ノ天津ニ

本野務大臣宛(電報)

#### 山東運河借款米中間新契約案ニ閑シ日本側ノ

林(久)領事ノ意見ニ対シ其必要ナキ旨稟申

ノ件

ミニ付尚両者ノ話合纏リ居ラザルモノニシテ其他ハ總テ協

議済ナリ尚右二点ニ付テモ目下旅行中ノ潘復数日中ニ帰京

ノ筈ニ付其上ハ協議成立スペク同人ニ於テハ現ニ契約ノ腹

案(「オースチン」ハ江蘇契約ハ瑕瑾専キモ山東契約ハ頗ル

不出来ニ付新契約ハ江蘇契約ノ長所ヲモ十分ニ參酌スル積

ナリト語リタル由)略示出来上リ居ルニ付議案ニ閑スル商

議決了ノ上ハ双方ノ談判委員丈ニテ新契約案ニ Initials ヲ

附スルコトトシ議案ニシテ議会ヲ通過スル節ハ直ニ契約ニ

調印スル所存ナルガ要スルニ交渉ハ先ツ大体順調ニ進行シ

居レリトノコトナリ尚江蘇山東西契約英文「コーコーポレーシ

ヨン」側ヨリ入手セルニ付写郵送スヘシ

註 右電報ハ四月十四日本野務大臣発在米佐藤大使宛電報第一一四号ヲ以テ全文転電セラレタリ

吸收セラルコトハ軽テ同地ニ於ケル日本貿易ノ發展トナルベキハ疑フ容レザル処ナルニ付天津迄ノ改修ヲ見合セ黄河迄ト為スノ必要毛頭之レナシト思考ス就テハ御同感ノ節ハ右ノ御方針ヲ以テ然ルヘク御措置アランコトヲ希望ス

(奉天経由四月十四日前〇、四五)

五月四日 在中国林公使ヨリ  
本野務大臣宛(電報)

#### 四〇六 山東運河借款米中間新契約案ニ閑シ日本側ノ

事前承認ヲ得度旨ケーリ申出ニ付報告並小野

副總裁派遺方稟申ノ件

第五七一号

往電第五〇六号ニ閑シ五月四日「ケーリ」「オースチン」及

「グレゴリー」ノ二人同伴來訪新契約案出来上リタル処支

那側ト商議ノ結果契約其ノモノヲモ議会ニ付議スルコトニ

ナリタルニ付テハ右日本側ノ承認ヲ得タル後復潘ノ「イニ

シアル」ヲ記シタル上財政総長ニ提示シ然ル後議会ニ提出

スルノ運トナルヘシトテ契約案ヲ示シタル上大体前契約同

様ナルモ多少相違ノ廉モ有之殊ニ担保ノ「コントロール」

竝印紙税ヲ direct liability トナシタル点等ハ注意ヲ要ス

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ閑スル件 四〇六

四〇七

五月六日

小野副總裁ノ北京派遺方ニ閑シ照会ノ件  
志立興業銀行總裁宛(電報)

四〇七

五月六日

小野副總裁ノ北京派遺方ニ閑シ照会ノ件  
志立興業銀行總裁宛(電報)

挙啓陳者支那運河借款ノ件ニ閑シ在支公使ヨリ別紙<sup>(註)</sup>ノ通リ來電有之候ニ付テハ同公使ヘ回電ノ都合モ有之候間貴方ノ御都合至急御回報相成候様致度尚御承知ノ通り本件借款計画ハ先般來著シク内外ノ耳目ヲ惹キ支那一部輿論ノ反対モ有之様ノ有様ニ付愈々小野副總裁渡支ノコトト相成ル場合ニ於テハ成ルヘク目立タヌ様致サルル方本件計画ノ遂行上好都合ト思料致候右電報御送付旁々為念此段申添候

註 別紙ハ前掲ノ在支公使來電第五七一号写ナリ省略ス 敬具

三五三

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 四〇八

四〇九 四一〇 三五四

四〇八 五月七日 志立興業銀行總裁ヨリ 小幡政務局長宛

山東運河借款ニ関シ小野副總裁北京派遣ノ件

大正六年五月七日

日本興業銀行 総裁 志立鉄次郎(印)

小幡政務局長殿

本月四日北京発第五七一号林公使秘電写御添附ノ貴書拝誦  
運河借款ノ件ニ付弊行小野副總裁至急北京ニ派遣可然旨公  
使之御意見並右ニ関スル御注意ノ次第委曲敬承致候就テハ

小野氏明八日出發北京ニ急行致候事ニ相定メ候間右之趣乍  
御手數林公使ヘ御内電被下度御依頼申上候尚御注意之趣乍  
尤ニ奉存候間可成内密ニ旅行可致御回答迄如此御座候

行スルコトトナレリ尚同氏渡支ニ際シ内外ノ耳目ヲ惹クハ  
計画遂行上面白カラサルニ付成ルヘク日立タサル様為念注  
意致置キタルニ付同氏貴地着ノ上モ万事右趣旨ニテ行動ス  
ル様貴官ニ於テモ特ニ御注意アリタシ

貴電第五七一号ニ関シ小野副總裁五月八日当地發賣地ニ急

行スルコトトナレリ尚同氏渡支ニ際シ内外ノ耳目ヲ惹クハ

計画遂行上面白カラサルニ付成ルヘク日立タサル様為念注

意致置キタルニ付同氏貴地着ノ上モ万事右趣旨ニテ行動ス  
ル様貴官ニ於テモ特ニ御注意アリタシ

四一〇 五月八日 在中國林公使ヨリ 本野外務大臣宛

山東直隸兩省運河借款ニ關スル米中間新契約  
案送付ノ件

機密第一七五号 (五月十四日接受)  
大正六年五月八日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)  
外務大臣法學博士子爵 本野 一郎殿  
大運河改修借款契約案送付ノ件

本月四日 Carey Austin 及 Gregory ノ二人同伴來訪大運  
河改修ニ關スル借款新契約案ヲ提示シ日本側ノ承認ヲ求メ

来リ候ニ付不敢往電第五七一号ヲ以テ右報告旁及具申置  
候次第有之候処右新契約案二通茲ニ及送付候條委細別紙ニ

第三六六号

就キ御査閱相成度候也

註 新契約案ハ後掲四二一文書附屬書一「インドースメント」  
ニ添付セラレタルモノ(別紙)ト大体同文ナルニ付省略ス

四一 五月九日 在中國林公使ヨリ 本野外務大臣宛(電報)

山東直隸兩省運河借款ノ米中新契約案中印紙  
税問題等ニ關シ妥協案成立シタルニ付日本側  
ノ意向承知シ度旨米國側ヨリ申越ノ件

四一二 五月十四日 在中國林公使ヨリ 本野外務大臣宛  
機密第一八五号 (五月二十一日接受)  
大正六年五月十四日 在支那

特命全權公使男爵 林 権 助(印)

外務大臣法學博士子爵 本野 一郎殿

運河改修ニ關スル借款契約案中修正案送付ノ件

本月八日付機密第一七五号ヲ以テ及御送付置候大運河改修  
ニ關スル新契約案中印紙税ヲ担保ニ供スル件ニ關シ財政部  
ニ於テ異議有之候為メ商議ノ末ニ妥協案成立シタル趣ヲ以  
テ其他二三點ノ修正案ト共ニ一併更ニ日本側ノ承認ヲ求メ  
來リタル次第ハ往電第五八四号ヲ以テ不取敢及報告置候處  
右妥協案並ニ修正案ハ別紙ノ通ニ有之候間委細右ニテ御詳  
付小野副總裁ハ十二日著ノ答ナルニ依リ一切ハ同氏著ノ上  
回答スルコトシタキ旨答ヘタル處右ニテ差支ナキ旨ヲ述  
ヘ引取タリ(奉天中継五月九日前九、五〇)

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ關スル件 四一 一

四一二

三五五

註 別紙省略



四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件

四一七  
四一八

三五八

四一六 五月十八日

在中國林公使宛(電報)

中国運河備款二關沙三月九日諱印八日米間勢  
約ト新契約案トノ間ニ内容上ノ差異ナキヤ問

合ノ件

第三十九回

ニテ確認後興業銀行ト Corporation 側トノ間ニ契約ノ調印ヲ了スペシトノコトナルガ右ハ三月九日米国ニテ彼我ノ間ニ調印セル契約ハ新契約案トノ関係上多少ノ訂正ヲ要スヘキ点アルヘキニヨリ今回新ニ右新契約案ニ適応スヘキ一契約ヲ調成シ之ニ調印スル次第ナルヘク尤モ其ノ内容中日本側参加ニ関スル各項ニ関シテハ前契約ト差異ナキコトト察セラルル処果シテ然ルヤ至急回電アリタシ

四一七 五月十九日 在中國林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)  
日米間ニ新ニ調印セラルル契約ハ米中間新契  
約トノ適合性ヲ確認スル趣旨ノモノナル件  
(五月二十日接  
第六四〇号)

四一八 六月五日 本野外務大臣ヨリ  
在中国公使宛  
中国運河借款ニ関スル米中間新契約中ノ印紙  
税問題ニ關シ問合ノ件

大正六年六月五日

五月八日付機密第一七五号貴信添付運河借款契約案並同案  
ノ修正トシテ御送付相成タル五月十四日付機密第一八五号  
貴信添付書閱悉致候然ルニ一方貴電第五八四号ニ拠レハ印  
紙税ノ全部ヲ担保ニ供スルコトハ支那側ニ於テ到底承諾シ  
難キヲ以テ該税中適當ノ額丈ヲ担保トシテ保留スルノ妥協  
案或立ンタレ由ル此機密第一八五号系付書ニハ契約上ノ責

務支弁ニ充ツヘキ收入不定ノ場合他収入特ニ印紙税ノ一部ヲ充當スヘキ旨ノ規定ヲ契約案第十頁ノ第二十五行ノ後

(即チ第四条ノ末尾)ニ附加センコトヲ記載セルニ止マリ第  
四条(c)項ニ担保トシテ挙ケアル印紙税ニハ何等制限ヲ加ヘ

依レハ契約案第十四頁第十三行<sup>ニ</sup> including Stamp duties  
ノ語ヲ挿入セシコトノ支那側ノ提案ハ拒否セラシタニムヘ  
ロトナル逃右ハ第七条 If there should be a breach of

this agreement, then all the revenues pledged as security ノ次ニ挿入スルノ意ト察セラレ候処果シテ然ラハ支那側ハ此場合印紙税ヲ除外シタキ希望ヲ有セルハ勿論ナ

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ關スル件 四

四一九

記

一、米国側ニテハ最初印紙税ヲ主タル担保ノ一トナサムトシ第四条(イ)ニ列記シタルモ支那側ヨリ之ヲ補充的担保ト改メタキヨトヲ申出テ結局印紙税ニ閑スル規定ヲ第四条末尾ニ附加スルコトニ折合ヒタル次第也從テ第四条(イ)ハ当然削除セラレタリ

一、五月十四日附拙信機密第一八五号ヲ以テ送付セル修正案中 Proposal to insert etc. ハ米国側ノ申出ニシテ turn down ハ支那側ノ主張ナリ即チ米国側ニテハ第七条中ニ為念特ニ印紙税ヲ明示セムト目論見タルモ支那側ニテ之ヲ好マサリシ為撤回スルコトナレル次第ナリ尤モ米国側ニテハ第七条中ニ Including stamp duties ナル字句ヲ插入セストモ支那側ニテ契約違反ノ場合ニハ他ノ担保同様当然印紙税ノ管理権ヲ要求シ得ルモノト了解シ居レリ (以上)

(附記)

運河借款ノ担保タル印紙税ニ関シ

(大正六年八月五日政務局調)

一、最初訂結セル山東契約ニハ担保ニ充テタル収入ニシテ

不足ノ場合ニハ他収入ヲ以テ補充スベク又右不足ニ応スル為年々山東ノ地租三十万墨弗ヲ補助担保 (reserve fund) トシテ準備スベシトアリ (一千九百十六年四月十九日付附属文書)

一、其後直隸山東ヲ通セル新契約案作成ニ至リ支那側ヨリ右地租ノ代リニ印紙税ヲ充当スベク其額ハ全部ニテハ補助担保トシテハ過大ナル故一部分ニ限リタキ旨申出テアリ (在支公使來電第四四四号及第五〇六号)

一、然ルニ大正六年五月四日 Carey, Austin 及シ Gregory ノ三名林公使ヲ來訪シテ支那委員ト商議ノ結果ナリトテ提示シタル契約案ニヨレハ右印紙税ハ補助担保ニ非ズシテ Direct liability ト成リ居リ (第四条七項) 又其額ハ全額ナリシ處右案ヲ支那委員ヨリ財政部當局ニ示シタルニ財政部ニテ修正ヲ加ヘタル由リテ結局印紙税ハ前記ノ通り補助担保トシテ (As a reserve fund) 供セラルルコトトナリ又其額モ a sufficient portion ト限ラルルコトトナリ (新契約案第四条第四項)

一、支那側ニテ契約違反ノ場合担保管理方ニ閑シテハ新契約案第七条ニ all the revenues pledged as security

云々トアリ初メ米国側ニテハ右文句ノ後ニ including stamp duties ヲ加ヘント欲シタルモ支那側ニテ応ゼザ

変ノ為予定ノ通り取運バレザルニ付便法トハ  
テ米国側ヨリ國庫債券案ヲ提出ノ件

附記 六月二十五日付在北京小田切正金取締役ヨリ井

上正金本店頭取宛書信

山東直隸兩省運河借款契約交渉ノ成行報告ノ件

第八二二三号

(六月二十五日接受)

一、印紙税ハ今後他借款ノ担保ニ供セラレ得ルヤ否ヤノ点リシ為メ遂ニ其ノ儘トナリタルガ米国側ニテハ契約違反ノ場合ニハ他ノ担保同様当然印紙税ノ管理権ヲ要求シ得ルモノト了解シ居レリ (大正六年六月二十一日付機密第一一四号在支公使來電)

一、印紙税ハ新契約案第四条第四項末段ニ During the life of this loan nothing shall be done with respect to the stamp duties which will in any way impair the value or safety of the reserve fund hereby provided

ト記載シアリ即チ準備額タル前掲 a sufficient portion ヲ触レザルニ於テハ他借款ノ担保ニ充タルモ差支ナキ訳ナリ從シテ支那側カ契約ニ従シ reserve fund トシテ特々 allocate ヲキ a sufficient portion ヲク幾何ナルヤ注意ヲ要スベシ



四一〇 六月二十四日

在中国林公使ヨリ

本野外務大臣宛(電報)

中國運河借款ニ閑スル米中間新契約ハ中國政

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ閑スル件 四一〇

ノ關係上不便不利ヲ感スヘキニ依リ寧ロ本契約前文ヨリ国会協賛ノ文句ヲ除キ国会ノ關係ハ支那政府内部ノ問題ナリトノ見地ヨリ直ニ本契約ヲ調印スル方然ルヘシト認メ其ノ意味ニテ小野ヲシテ委曲 Corporation 側ニ回答セシメタルニ Carey Gregory 何レモ大体同意シタルモ米国公使ハ國会ヲ無視スルコト不可ナリトノ説ニ傾キ國庫債券案賛成ノ意味合ニテ本国政府ニ請訓シタル趣ナリ小野ハ關係書類ヲ携ヘ一十三日北京発 Carey ト協議ノタメ北戴河ニ滞留ノ上陸路直ニ帰京ノ筈ニ付到著次第委細ノ事情ヲ聞取ラレ御見込次第ニテ在米大使ヲシテ直接米国政府ニ向テ國庫債券案ヲ見合セ本契約調印方勧告セシムルコト然ルヘキカト存ス尚米国公使避暑地ヨリ帰京次第本使ヨリ篤ト懇談ヲ試ムヘシ（奉天中諭六月二十四日後一、四〇）

## （附記）

頭第6／百六十六号 大正六年六月二十五日

本店頭取 井上準之助殿

於北京支店

取締役 小田切万寿之助

直隸山東運河改修借款交渉成行報告ノ件

本年五月七日付頭第百三十号公信ヲ以テ直隸山東運河改修借款契約改訂案及御送付置候處其ノ後米国「インターナショナル、コルポレーション」代表者ハ同件ノ為メ去月中旬來燕セル小野興銀副總裁ト打合セノ上支那側ニ對シ双方委員ノ閔スル限りニ於テ該草案ノ協議ヲ完結シ且ツ國務院ノ認可ヲ得タル上草案ニ「イニシアル」シ他日国会ノ通過ヲ俟チテ本契約ヲ作成センコトヲ申込ミタルニ此時ニ至リ図ラスモ支那委員ハ草案ノ規定ニ閔シ種々修正ヲ提出シタル結果更ニ數回ノ交渉ヲ經テ纏ニ別附甲号ノ如キ草案ヲ擬定セル由ナルカ一方國務院ノ認可ハ時局紛糾ノ為終ニ之ヲ獲ルニ至ラサリシ由ニ候是ニ於テ日米關係者商議ノ結果此変則ナル事局ニ處スル手段トシテ該契約案中國會承認ニ閔スル規定ヲ削除シタル上本契約ヲ作成シ國務院ノ承認ヲ得テ米支当事者ニ調印スルカ然ラサレハ別ニ短期大蔵証券發行ニ閔スル契約即チ別附乙号ノ如キ契約ヲ兩当事者間ニ訂結シ以テ工事ノ開始進行ニ資スルカルノ二案ヲ得、帝國公使館及日米關係者ニ於テハ右前案ヲ以テ最モ時機ニ適スルノ処置ト認メタルモ獨リ米国公使ハ實勢ニ適応セサル憲法的觀念ヨリシテ國會承認条件ノ削除ニ疑念ヲ抱キ事ノ可否ヲ

本国政府ニ電伺スルト同時ニ後案ニ對シテハ賛成ヲ表スルカ如キ態度ヲ取リシ為事ハ今日迄何等決定スル所無之一面此形勢ヲ看取シタル小野副總裁ハ万事ヲ我公使館ニ托シテ両日前当地出發帰朝ノ途ニ就キ候、左記書類相添貴方内密ノ御含迄此段申進候 敬具

記

○甲 山東運河改修借款契約案

○乙 大蔵証券發行ニ關スル契約案

○丙 小野副總裁書面写

丁 同意見覺書写

戊 「カレー」電報写

右甲号契約ニ附屬スヘキ日本側契約承認文書案アル筈ナルモ小野副總裁ヨリ領收洩ト相成候

（欄外註記）

「○印ハ既ニ在支公使ヨリ送付スミ」

四二一 六月二十五日  
（在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛）

山東直隸兩省運河改修借款契約案ニ關スル件

附屬書一 五月十七日日米間ニ合意成立ノ「インドース  
四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 四二一

四 日米提携依ル中国運河改修借款成立ノ闇ハル件 三一一

問題及印紙税問題ノ闇ハ「大一八九」ノ其ノ「ニ

「シヘン」本店ノ発送シタル書面(別紙十叶)

將又本件ノ現ノ政變ノ為不幸シテ一頓挫ノ來ベリ相々  
ルヤ今回小野副總裁來燕両月「回ニ「ニ一九一九年」

側ト密接ナル關係ヲ結ニ遺憾ナク意思ノ疏通ヲ圖ニ始終多  
大ノ好感ヲ以テ遇セシムタルノ一事、本使ノ十分認識スル  
所ニ有之候序ヲ以テ及報告候也

拙別紙ノ号及丙号ヲ省略ベ右ノ号ノ前掲四十五文書ニ同文ナ  
リ

(密接ノ)

甲申等

五月十七日日米間ノ合意成立ノ日米間協定書案及右協定書院

屬ノ山東直隸兩省運河改修借款ノ闇ハル米中間契約案(別紙)

#### ENDORSEMENT

It is mutually agreed between the American International Corporation and the Industrial Bank of Japan that the attached copy of contract between the Government of the Republic of China and the American International Corporation is in conformity to the agreement entered into between said Corporation and said Bank at New York "for cooperation, with the approval

三長國

of the Chinese Government, in undertaking the improvement of the sections of the Grand Canal in the Provinces of Shantung and Kiangsu in the Republic of China" as amended by cables and by talks with

Mr. Y. Ono.

Signed and sealed at Peking, China, this day of May, 1917.

AMERICAN INTERNATIONAL CORPORATION,

By its duly authorized Representative,

INDUSTRIAL BANK OF JAPAN,

By its duly authorized Vice-President,

WITNESSES:

(司馬)

THE CHINESE GOVERNMENT  
GRAND CANAL IMPROVEMENT

SEVEN PERCENT (7%) GOLD  
LOAN OF 1917.

The Chinese Government, for the improvement of the Grand Canal in Shantung and Chihli provinces, to make a public loan for said purpose, and to provide for financing further improvement if necessary finds the following necessary to be enacted by the Parliament of the Republic of China through its responsible and authorized organs and to be sanctioned by the President of the Republic of China before this agreement becomes effective:

WHEREAS, the Chinese Government considers the Grand Canal work in Shantung and Chihli provinces as a part of National Conservancy Work, to wit, the improvement of that part of the Canal commencing at Pang Chia-Kou and Lan-Huang Pa in the North and ending at Wei Shan Hu and Tai-erh-Chuang in the South, such extensions as may be required, work in connection with the valleys of the Wen and Ssu Rivers, the Po River and marshes and other tributaries of the main Canal, and the improvement of the lands thus reclaimed; and on the date that this agreement becomes effective the agreement executed between the Province of Shantung and the American International Corporation dated April 19, 1916 is to be cancelled;

AND WHEREAS, an extension of the work is now provided for which shall extend the North section of the Grand Canal from Tao-chen-pu on the Yellow River to Tin-tsin via Linching and Tehchow, and improve such extensions and tributaries of the main Canal as may be required;

THEREFORE the National Conservancy Bureau is hereby authorized and empowered to enter into the following agreement with the American International Corporation and all officers mentioned therein are authorized and empowered to perform the several acts therein stipulated to be done by them;

#### ARTICLE I.

- For the exclusive purpose of financing the improvement work in Shantung and Chihli provinces above mentioned, the Gov. AGENT Government authorizes the Corporation as its agent to issue a gold loan of six Million LOAN Dollars United States Gold Currency (G \$ 6,000,000) on the terms and conditions hereinafter set forth. This loan shall be called the CHINESE GOVERNMENT GRAND NAME CANAL IMPROVEMENT SEVEN PER-

日米提携依ル中國運河改修借款成立ノ闇ハル件 三一一

三長國

## CENT (7%) GOLD LOAN OF 1917.

OBLIGATION

2. This loan and all advances made hereunder shall constitute a direct liability and obligation of the Government, which hereby pledges its good faith and credit for the punctual payment of the principal and interest of the loan and for the performance of all undertakings on its part herein assumed.

## BONDS

3. The denomination, working, design, and designation of the currencies of the bonds shall be determined by the Corporation, and all expenses incurred in connection therewith shall be borne by the Corporation, but the cost of engraving and printing the bonds shall be borne by the Government, SIGNATURE which shall furnish a facsimile of the signature of the Minister of Finance and seal of the Ministry of Finance to be engraved on COUNTER-SIGNATURE the bonds. The Chinese Minister in Washington shall, previous to the issue of the bonds, also furnish a facsimile of his signature and official seal to be engraved on the

bonds to signify that said bonds are the binding obligation of the Government.

4. The aggregate amount of the first issue ISSUE of the bonds shall be for Six Million Dollars at Ninety Percent (90%), and shall be made en bloc or in series. Nothing herein contained shall prevent the Corporation purchasing all AGENT MAY PURCHASE funds of this loan not be sufficient for the work the American International Corporation will be applied to for a further issue of bonds on terms to be agreed upon. The time of issue and amount of any and all FUTURE bond issues hereunder, and provisions for advances and temporary financing, shall be determined by the Corporation in consultation with the Government.

5. All expenses in connection with said Six ISSUE EXPENSES Million Dollars (G \$6,000,000) bonds taken by the Corporation hereunder, or for such portion of future issues as may be taken by the Corporation, such as bankers' commis-

sions, flotation charges, shall be borne by the Corporation.

ADVANCE 6. Immediately upon this loan agreement becoming effective, the Corporation will set aside an advancement to the Government to provide for the preliminary expense of the work pending the bond issue herein referred to.

TIME OF ISSUE 7. The Corporation in consultation with the duly authorized representative of the Government shall decide what is the most favorable moment for the issue of bonds and the duly authorized representative of the Government will give the necessary instructions to the Chinese Minister in Washington. If at such time so determined the issue of such bonds on the terms named herein or agreed upon would be impossible, then in such case the Government and the Corporation shall agree upon Temporary financing upon a mutually satisfactory plan of temporary financing under an agreement to be negotiated at the time.

If, however, subsequent to any agree-

ment having been reached for the Corporation to issue bonds hereunder and before the publication of the prospectus for such issue or for any series thereof, any political Force or financial crisis should arise affecting the money markets or the price of Chinese Government securities so as to render impossible in the opinion of the Corporation the successful issue of the bonds at the time agreed upon, then the Corporation upon consultation with the Government respecting the period of time shall be granted a reasonable extension for the performance of its contract. If, within the time limit to be arranged, the issue of Chinese bonds on the conditions hereinbefore stated should be impossible as aforesaid, then the Government and the Corporation shall agree on a mutually satisfactory plan for temporary financing to provide, as far as possible, for the uninterrupted continuance of construction.

8. Under extraordinary circumstances,

should the bond issue or temporary financing or advancing be impracticable, and/or in case the Corporation has made previous advances and/or bond issues and then is unable to make further advances, after one year this loan may be declared concluded if any, and/or bond issues, if any, together with the legitimate interest within three (3) months, after which the contract shall become null and void.

**CONCLUSION**  
Repayment of bonds & advances and the Government will repay the advances, if any, and/or bond issues, if any, together with the legitimate interest within three (3) months, after which the contract shall become null and void.

**ARTICLE II.**

**INTEREST**  
1. The rate of interest for the present issue shall be Seven Percent (7%) per annum computed from the dates of the bonds, which dates shall be the dates of issue. It shall be paid semi-annually in the manner

Supplementary details 9. All details of the prospectus for the present issue and any other issues, and of loan service, not provided for specifically herein shall be arranged by the Corporation in consultation with the Chinese Minister at Washington.

**Rate**  
**Commences**  
**Periods**

meet six (6) months estimated expenditure in advance, which sum shall be determined by the Chief Engineer in consultation with the Contractors and submitted to the Director-General for approval, and shall be maintained by subsequent monthly transfers so that so far as possible there will always be six (6) months estimated expenditure in China on deposit with the International Banking Corporation.

**WORKING FUNDS**  
3. Working funds transferred to the works shall be deposited in and operated through some responsible bank in China designated by the Government.

**EXCHANGE**  
4. The cost of all transfers of all funds of whatever nature to, from, and in China shall be borne by the Government and Adjustment included in the rate of exchange to be settled either on the date of transfer or prior thereto as mutually agreed upon between the Government and the International Banking Corporation.

**DISBURSEMENTS**  
5. The Government shall at all times dur-

hereinafter provided. Unused funds on fixed deposit in China with the International Banking Corporation shall bear interest at current rates, and the unused balance deposited in America shall bear interest at the rate of Two Percent (2%) per annum.

2. After the appointment of a Director-General for this work the Corporation will place said advancement, and after issue or issues of bonds the proceeds thereof, to the credit of the GRAND CANAL CONSERVANCY Conservancy Account, to be transferred to China in necessary installments from time to time through and to be held on deposit in China with the International Banking Corporation pending their transfer to the works. When, after the appointment of the Director-General and the Chief Engineer, it shall be possible to proceed with improvement work, there shall be transferred to the International Banking Corporation at Tientsin or Shanghai and put to the credit of the Grand Canal Conservancy Account a sum sufficient to

ing construction keep the Contractors in funds to meet expenses under this contract; and the Contractors shall, not less than Seven (7) days before the end of each month, furnish the Director-General with a lump-sum requisition showing the amounts required to be expended for all purposes of the contract work during the then ensuing month. Such requisitions shall be paid by the Auditor to the Contractors minus any balances then in the hands of the Contractors not then expended, after they have been approved by the Chief Engineer and signed by the Director-General to signify his approval. Thereupon the Contractors shall expend the same only in accordance with the plan prepared and agreed upon as stipulated is Article VI. Funds for the general expense of the Head Works Bureau hereinafter referred to shall be held by the Custody of Dr.-Gen. C. Eng. Hd. Wks. Bu. funds Accounting Department of the Head Works Bureau. A budget of the general expense General expense for each ensuing month shall be agreed budget

upon by the Auditor and Contractor and disbursed by the Auditor upon requisitions approved and signed by the Director-General.

6. The Canal Head Works Bureau and Canal Conservancy Bureau and the Contractors shall at all times keep proper and correct books in English, showing all transactions of income and expenditure in detail and by items, and both parties shall always have access to and the right to inspect such accounts.

### ARTICLE III.

**TERM & AMORTI-**  
**SATION**

Redemption deemed Fifteen(15) equal, annual instalment, dating from the expiry of the fourth year of the issue, by drawings which shall be held in New York at the National City Bank of New York, which is hereby appointed Trustee for the bondholders, in conformity with the Amortisation Table annexed hereto.

Table

The serial numbers of bonds drawn shall

so by paying an addition of one and one-half percent ( $1\frac{1}{2}\%$ ) on the par value of the bonds not then redeemed. But in such and every case of such extra redemption the Government shall give Six (6) months previous notice in writing to the Trustee, and such extra redemption shall be effected by additional drawings, as provided for in the Cancellation prospectuses of the loans. The redeemed bonds and interest coupons, if any, will be received and cancelled by the Trustee when they shall be presented for payment at the place designated by the Trustee.

4. A Loan Service Account shall be established and maintained in the International Banking Corporation Peking, during the life of the loan subject to the order of the Auditor. In this account shall be deposited from the Special Revenue Account herein-after referred to Fifteen (15) days before each due date, amounts in silver sufficient to meet the interest and amortisation payments in gold dollars in New York, or in gold of

be published in Four (4) daily news papers at the cost of the Corporation. All interest and amortisation payments shall be made in gold, by the National City Bank, and at <sup>Place of</sup> such places as may be designated by it in such public notice. Bonds presented for <sup>Cancellation</sup> payment must be surrendered together with their proper coupons if any. Interest on <sup>Interest ceases</sup> drawn bonds ceases on the day of drawing.

2. For reimbursement in connection with the payments of interest and repayments of principal of the loans the National City Bank of New York shall receive a commission of one-quarter of one percent ( $\frac{1}{4}\%$ ) from the Government on the annual loan service, such commission to be paid half-yearly Payable simultaneously with the interest payments and repayments of principal in accordance with the Amortisation Table hereto annexed.

3. If after Five (5) years from the respective dates of these loans the Government should desire to redeem the whole or any portion thereof no then redeemed it may do PREMIUM

the national currency of such other places as may be designated by the Trustee, which shall be transferred to place of payment through the International Banking Corporation. If the funds of the Special Revenue Account should be insufficient, the deficiency <sup>Deficiency</sup> <sup>Stamp Duties supplied</sup> will be made up by funds transferred from the Stamp Duties, or in defect thereof from other sources. Said Loan Service Account Minimum shall at all times be sufficient in amount for Six (6) months' use.

### ARTICLE IV

1. This loan and all advances and temporary financing are hereby secured by—

(a) The lands to be reclaimed by the work <sup>Govt.</sup> <sup>lands</sup> done hereunder owned by the Government, which the Government declares to be approximately Three Hundred <sup>Govt.</sup> <sup>land</sup> Thousand (300,000) mow; and all <sup>proceeds</sup> revenues derived or to be derived by the Government from Government lands affected by the work; also all proceeds from the sale, lease, and/or

taxation of all reclaimed and/or improved lands, as well as any special taxes which may be levied by the Government on lands benefitted by this work.

Affected land revenues  
(b) All taxes derived or to be derived from all other lands affected by this improvement, which the Government estimates to be an approximate area of Five Hundred Thousand (500,000) mow.

Area  
The Government hereby certifies that the estimated area of the above-named districts amounts approximately to Eight Hundred Thousand (800,000) mow, and the area is to be confirmed by a map made after an actual survey and furnished the Corporation.

To be mapped  
Canal Revenues  
(c) All tolls and taxes derived or to be derived from the use of the section of the Grand Canal improved under this contract, during the life of this loan.

Property purchased and built  
(d) All property purchased or constructed

of the Auditor to meet payments due for interest and amortisation. After providing for said Loan Service Account, any surplus left from said receipts shall be used, first Maintenance for the maintenance of the Canal, which shall be maintained in good condition, and second, to be placed at the disposal of the Release Government.  
Deficit and/or Maintenance funds assured.  
Surplus  
4. Should the revenue herein pledged be insufficient to meet the amounts required for interest, amortisation, loan service, exchange, maintenance of the Canal, or any other obligation of this contract, the Government hereby agrees to make up the deficiency from other sources, and among them specially allocates for this purpose a sufficient portion of the Stamp Duties levied by virtue of an Act promulgated on October 21, 1912, called the "Yin Hua Shui," as a reserve fund which is free from all encumbrance excepting a pledge of Five Hundred Thousand Dollars (Py \$ 500,000) local currency which is set aside as a reserve fund

with loan funds.

2. The foregoing property and revenues are not now pledged for any other loan or financial obligation; and so long as this loan or any part thereof shall remain unredeemed, it shall have priority both as regards principal and interest over all future loans and obligations charged thereon and said security shall not be impaired or injured by taxes, likin, imposts, royalties, or in any other manner.

3. All receipts in connection with the collection & disbursement of REVENUES by the Head Works Bureau during construction and by the Conservancy Bureau herein-after mentioned, during the remainder of the life of the loan, and shall be transferred by the Bank of China, if practicable, to and be deposited in a SPECIAL REVENUE ACCOUNT in the International Banking Corporation, Peking Shanghai and/or Tientsin, pending transfer to the Loan Service Special Revenue Account as above mentioned on the order Account

secondary to the Deeds Tax for a domestic loan; and during the life of this loan nothing shall be done with respect to the Stamp Duties which will in any way impair the value or safety of the reserve fund hereby provided.

#### ARTICLE V.

1. The Siems-Carey Railway & Canal Co., CONTRACTORS is hereby recommended and accepted as the Contractor for the work of improvement of the Grand Canal provided for under this contract. It shall have charge and control of everything in connection with the engineering and construction work, shall perform the same efficiently, economically and speedily according to plans made by the Chief Engineer and approved by the Director-General who shall send them to the Contractors for their approval and execution; shall make all purchases, carefully storing, protecting, and issuing for use all purchases during construction; and shall receive as their sole remuneration a sum equal to Ten percent Commission

(10%) of the total amount expended for all purposes including head-office expenses, as profits, which sum shall be paid to the Contractors in monthly payments at the end Requisitions of each month's work, requisitions therefor approved by Dir.-Gen. & Auditor being based on accounts approved by the Auditor and submitted to the Director-General for his approval and signature.

PROTECTION. 2. The Government will provide sufficient protection for the work and all properties of the Contractors and/or Corporation as well as for Chinese and foreigners employed thereon.

MATERIALS. 3. In the purchase of materials preference shall be given to Chinese materials when price and quality are at least equal; otherwise American materials and machines may be used when the price does not exceed the price of the same quality in other foreign markets.

IMPORTS. 4. All necessary imports for the purpose of this improvement shall be exempt from duties, taxes, and imposts.

Payable monthly

Requisitions of each month's work, requisitions therefor approved by Dir.-Gen. & Auditor being based on accounts approved by the Auditor and submitted to the Director-

#### General for his approval and signature.

2. The Government will provide sufficient protection for the work and all properties of the Contractors and/or Corporation as well as for Chinese and foreigners employed thereon.

3. In the purchase of materials preference shall be given to Chinese materials when price and quality are at least equal; otherwise American materials and machines may be used when the price does not exceed the price of the same quality in other foreign markets.

4. All necessary imports for the purpose of this improvement shall be exempt from duties, taxes, and imposts.

(10%) of the total amount expended for all purposes including head-office expenses, as profits, which sum shall be paid to the Contractors in monthly payments at the end Requisitions of each month's work, requisitions therefor approved by Dir.-Gen. & Auditor being based on accounts approved by the Auditor and submitted to the Director-General for his approval and signature.

2. The Government will provide sufficient protection for the work and all properties of the Contractors and/or Corporation as well as for Chinese and foreigners employed thereon.

3. In the purchase of materials preference shall be given to Chinese materials when price and quality are at least equal; otherwise American materials and machines may be used when the price does not exceed the price of the same quality in other foreign markets.

4. All necessary imports for the purpose of this improvement shall be exempt from duties, taxes, and imposts.

5. The work on the Shantung section shall be completed within Thirty (30) months from the date of payment of the first estimate to the Contractors, unless delayed by some unforeseen occurrence.

#### ARTICLE VI.

1. The Director-General is hereby appointed by the Government and acts as its representative respecting the work to be done hereunder. He shall, upon the commencement of this work, establish at Tsing-hsien and maintain there or at such other place as may be convenient, a bureau known during construction as the Head Conservancy Works Bureau and afterwards during the life of the loan as the Canal Conservancy Bureau. In this Bureau there shall be Three (3) responsible departments, viz:—

(1) A General Affairs Department with General Affairs Dept. an officer in charge appointed by the Director-General. This department shall take charge of all work in connection with Miscellaneous affairs.

Engineering (2) An Engineering Department in charge of an American Chief Engineer during and until completion of construction, and afterwards during the life of any and all bonds, in charge of a Chinese Engineer.

Employment. Both engineers shall be appointed, removed, and/or replaced by the Director-General and/or recommended by the Corporation upon consultation with and/or upon the recommendation of the Corporation, and shall always be persons nominated by the Corporation and whose professional reputation and experience are first-class.

Chief Engineer. During construction said American Chief Engineer shall be the Inspector and Consulting Engineer of the Government for this work. He shall, with the approval of the Contractors, make all plans of improvement and drainage contemplated. If the work planned appears not feasible or the cost not reasonable to the Contractors, the Director-General will cause the plans to be revised to make them feasible and the cost

reasonable as aforesaid. The work must be performed to the satisfaction of the Chief Performance Engineer, and he shall have power to refuse his approval to lump-sum requisitions until he is satisfied that the work is or will be performed according to the plans above specified. The Director-General's approval and signature must be obtained by the Chief Engineer of all lump-sum requisitions of the Contractors. The Director-General or his representative shall have full powers of inspection of work at any time. Upon completion of the Canal improvement work, the Chinese Chief Engineer will supervise the maintenance of the Canal, which shall be maintained in good condition.

(3) An Accounts Department in charge of an American Auditor, appointed, American Auditor removed, and/or replaced by the Director-General upon consultation with and/or upon the recommendation of the Corporation, and who shall always employ

American nominated by the Corporation.

#### DUTIES

This Auditor shall have charge of all receipts and disbursements in connection with the fulfillment of this agreement and shall supervise the collection of the revenues pledged excepting the Stamp Duties during the life of the loan. He shall attend to the transfers of funds to, from, and in China. He shall make all withdrawals of loan funds; but only upon requisitions bearing the signatures herein provided for. He shall, as herein stated, handle the payment of the interest and amortisation charges, the payment of maintenance and operating costs, and turn over the balance of the revenue above the amount required to be kept in the Loan Service Account to the Government.

2. Should the American Auditor have suggestions to make regarding the revenues he may lay them before the Director-General who shall, if they are practicable, put them into execution.

Payments

Transfers

Advertiser

Duplicates

Expenses

by this loan being lost, stolen, or destroyed, the Corporation may notify the Chinese Minister at Washington who shall authorize the Corporation to insert an advertisement in Four (4) newspapers stating that the payment of such bond or bonds has been stopped, and to take such other steps as may appear advisable or necessary according to the laws and customs of the country concerned. Should any bond or bonds be destroyed, or should such lost or stolen bond or bonds not be recovered after a lapse of time fixed by the Corporation, the Chinese Minister at Washington shall execute a duplicate bond or duplicate bonds for a like amount and deliver the same to the Corporation, representing the owner or owners of such lost, stolen or destroyed bond or bonds, which Corporation shall pay all expenses in connection with such delivery and execution of such duplicate bond or bonds for the account of the owner or owners of such bond or bonds.

3. No Subordinate officer shall be appointed in any of said departments until after the approval of the Director-General has been secured.

4. Should the Government desire to engage ADVISORS advisors relating to the reclaiming of land, managing reclaimed land, and developing the communication facilities of the Grand Canal, it will request the Corporation to recommend suitable persons for approval and appointment.

5. The salaries of the Chief Engineer and SALARIES Auditor shall be arranged between the Director-General and the Corporation.

#### ARTICLE VII.

1. If there should be a breach of this BREACH agreement, then all the revenues pledged as security shall, upon request of the Corporation, be transferred to and administered by the Corporation or the Maritime Customs Maritime Customs in the interest of the bondholders.

#### ARTICLE VIII.

1. In the event of any bond or bonds issued<sup>1</sup> BONDS

2. All bonds, coupons, and payments made<sup>EXEMPTION FROM TAXES</sup> and received in connection with the service of this loan shall be exempt from all Chinese taxes and imposts during the currency of this loan.

#### ARTICLE IX.

1. Of the Six Million Dollars(G \$6,000,000) PLACES OF ISSUE of bonds to be issued, Three Million Five Hundred Thousand Dollars (G \$3,500,000) shall be issued in America and Two Million Five Hundred Thousand (G \$2,500,000) thereof may be issued elsewhere. Any portion or series thereof and any increase thereof shall be issued in the same proportion.

2. The Corporation may, with the approval<sup>ASSIGNMENT</sup> of the Chinese Government, transfer or delegate any part of its rights and powers hereunder, provided that the control of the Engineering Department, Accounts Department, and Contracting control shall not be transferred or delegated to any foreign nations other than American.

## ARTICLE X.

KIANGSU  
1. In the event that in the future money is to be borrowed to improve the section of the Grand Canal from Tai-Chuang to Chinkiang in Kiangsu province, application therefor will be first made to the American International Corporation.

## ARTICLE XI.

COPIES  
1. This agreement shall be executed in quadruplicate in the Chinese and English languages, each text being a correct translation of the other. In the event of any dispute arising at any time respecting the construction or meaning of this agreement, the English text shall prevail.

FILING OF COPIES  
2. One copy of both Chinese and English texts of this agreement shall be delivered to and held by each of the following:—  
(1) The National Conservancy Bureau,  
(2) The Ministry of Foreign Affairs,  
(3) The American Legation, Peking,  
(4) The Corporation.

## ARTICLE XII.

1. This agreement shall take effect on the EFFECTIVE DATE

date of transmission of a copy thereof by the Ministry of Foreign Affairs of the Government to the Legation of the United States of America at Peking. IN WITNESS WHEREOF, the Government of the Republic of China and the American International Corporation have caused this instrument to be executed by the \_\_\_\_\_ of the National Conservancy Bureau and the Representative of the Corporation respectively at Peking China, this \_\_\_\_\_ day of \_\_\_\_\_, A.D. 1917:

REPUBLIC OF CHINA,  
By its \_\_\_\_\_ of National Conservancy Bureau,

AMERICAN INTERNATIONAL CORPORATION,

By its duly authorized Representative,

WITNESSES:  
.....

here, that in concluding any important contract with the Chinese Government it is not a question for foreign contractors whether the contract should go through Parliament or not. This is the question entirely concerned with the Chinese Government. It is the opinion of the Japanese Legation that the present Chinese Government with its President, Vice-President and Premier, and Vice-Ministers who are authorized by mandates to exercise the full power of the Minister in each Department, is the rightly constituted Government, and we have no reason to question its authority in concluding any important contract.

Knowing that the Parliament is dissolved; that the time of its re-opening is entirely uncertain, it would be the best course for the American International Corporation to ask the present Government to sign the contract, striking from its Preamble reference to the Parliament. If in future the question was raised by the Parliament about the legality of the contract, it is the responsibility of the Government to answer to the Parliament; but such discussion cannot destroy the validity of the contract. In such a case the contract will be supported by the Japanese Government,

I have this afternoon had an interview with Mr. Carey, Mr. Gregory and Mr. Austin respecting two points touching the proposed Canal contract, namely, (1) the political situation, (2) the security of the Stamp Duties.

I have been asked to write you my views respecting these points, and I respectfully submit the following opinion, namely:

(1)—Regarding the political situation as it bears upon our contract, it is my judgment, after carefully going over the ground with our Japanese Legation

NAME.

(蓋屬印)

丁卯仲

大英十九日附小野興銀司總裁ニシテ米國國營公社本埠處書翰

契約案ハ國外附議問題及印紙稅問題ハ生

COPY.

Peking, June 19th, 1917.

The American International Corporation,

120 Broadway, New York.

Gentlemen:

I have this afternoon had an interview with Mr. Carey, Mr. Gregory and Mr. Austin respecting two points touching the proposed Canal contract, namely, (1) the political situation, (2) the security of the Stamp Duties.

I have been asked to write you my views respecting these points, and I respectfully submit the following opinion, namely:

(1)—Regarding the political situation as it bears upon our contract, it is my judgment, after carefully going over the ground with our Japanese Legation

國 印米銀撫ニ依ル廿國興河治修整款設立ノ墨々生

一一二

四 日米提携<sup>リ</sup>依<sup>ス</sup>中国運河改修借款成立<sup>リ</sup>體<sup>ハ</sup>事件 **四〇一**

as well as the American Government. Therefore, if the present Chinese Government as it is now formed is ready and willing to execute the contract, it is my opinion that it should be executed without delay and without waiting for Parliament. In other words, Parliamentary action under existing circumstances is not necessary.

(2)—Respecting the security of the Stamp Duties. We have today seen a bond of the "Domestic Loan of the First Year of the Republic", which is secured primarily by the Deeds Tax, and then by the Stamp Duties. On this bond it appears that the whole Stamp Duties are pledged to support this loan, and the bond on its face shows that the total authorized amount to be issued is \$200,000,000.00 Mex. As a matter of fact, the Ministry of Finance states that only \$16,000,000.00 Mex. actually have been issued and are an obligation against the Government under this loan; their term is thirty years and the rate of interest 6%.

I think we should have from the Minister of Finance a letter to be used in our prospectus clearly stating that only \$16,000,000.00 Mex. are outstanding, and that only \$500,000.00 Mex. is annually appropriated

一一八〇

from the avails of the Stamp Duties for the service of this loan, and that the total income annually from the Stamp Duties is \$4,000,000.00 Mex. and over; so that a wide margin ample to protect the service on our loan is left. This letter should also state that the remainder of the \$200,000,000.00 Mex. authorized to be issued is cancelled and will not be issued.

With such a letter from the Ministry, I am confident that the security is ample for our loan.

Mr. Austin will bear this letter to you with my personal regards to Messrs. Vanderlip, Stone, Baldwin, Straight and Kies.

I must apologize to you for not having written since I returned from your city, and Mr. Austin has kindly consented to give you my latest news.

Very sincerely yours,  
(Signed) Y. Ono

**四〇一** 七月一〇日 在中國林公使<sup>ニ</sup>宛(電報)  
米中間ノ運河借款契約案譲印方及日米間契約  
取交方ニ關ハ請福ノ件

第1〇一〇九号

(七月一〇日正接受)

七月一〇日 Carey 等<sup>ニ</sup>米國公使<sup>ハ</sup>遂<sup>リ</sup>國令<sup>リ</sup>關スル規定<sup>ヲ</sup>除<sup>キ</sup>運河借款<sup>ニ</sup>關スル契約案<sup>ニ</sup>調印スル<sup>ト</sup>ニ同意シタル<sup>ト</sup>並支那側<sup>ニ</sup>テモ六月十九日付小野<sup>発</sup>「ヨーポンーハ<sup>」</sup>號書面(六月二十五日付<sup>シ</sup>信機密第1111八号附屬書<sup>ト</sup>)<sup>ハ</sup>趣旨<sup>ニ</sup>全然同意<sup>ラ</sup>表シ且別<sup>ニ</sup>書面<sup>ヲ</sup>以テ日本<sup>ト</sup>ノ共同<sup>ヲ</sup>承認スルコトナリタル<sup>ニ</sup>付直<sup>ニ</sup>紐育<sup>ニ</sup>向<sup>ケ</sup>最終ノ訓令<sup>ヲ</sup>電請シタル<sup>ト</sup>通知<sup>シ</sup>來<sup>レ</sup>リ就<sup>ク</sup> Carey <sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>紐育<sup>ヨリ</sup>調印差支ナシトノ訓令<sup>ニ</sup>接<sup>シ</sup>次第本契約案前文<sup>ニ</sup>相當修正<sup>ヲ</sup>加<sup>ヘ</sup>タル<sup>ト</sup>調印<sup>ヲ</sup>了セシメ前記<sup>シ</sup>信機密第1111八号<sup>ノ</sup>米間ノ契約<sup>ヲ</sup>取交スコト致シ度<sup>シ</sup>委細小野<sup>ト</sup>御打合<sup>ノ</sup>上何分<sup>ノ</sup>義至急(遅クモ水曜午前迄<sup>リ</sup>)電訓<sup>ヲ</sup>請フ(一〇一〇日正接受)

四〇二 七月一〇十四日 本野外務大臣<sup>ニ</sup>宛(電報)  
米中間ノ運河借款契約案調印方及右確認ノ件  
米間協定取交方差支ナキ<sup>ト</sup>並秘密事項<sup>ニ</sup>  
付指示ノ件

第五一〇一號

貴電第一〇一〇九号<sup>リ</sup>閻<sup>ハ</sup>早速小野<sup>ト</sup>協議シタル<sup>ト</sup>處興銀<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>四 日米提携<sup>リ</sup>依<sup>ル</sup>中國運河改修借款成立<sup>リ</sup>關スル件 **四〇二**

一一八一

テモ何等異存ナシ<sup>ム</sup>ヘ<sup>ト</sup>付契約調印方並<sup>「</sup>イ<sup>ン</sup>シ<sup>ル</sup>ベ<sup>ヘ</sup>メン<sup>ト</sup><sup>」</sup>取交方取計<sup>ハシメテ</sup>ア<sup>レ</sup>差支ナシ尚小野<sup>ノ</sup>意見<sup>ニ</sup>テハ本件契約調印ノ上<sup>ハ</sup>自然支那側乃至米國側<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>契約ノ内容<sup>ヲ</sup>發表スル<sup>ニ</sup>至ルコト有<sup>之哉</sup>モ<sup>ト</sup>支那側公債手取金額及<sup>シ</sup>「シーブス<sup>、</sup>ケーリ<sup>」</sup>工事手數料丈<sup>ハ</sup>絶対<sup>ニ</sup>秘密ト致シタシ右<sup>ニ</sup>点<sup>リ</sup>シテ世上<sup>ニ</sup>知<sup>レ</sup>亘ルニ於<sup>テ</sup>ハ公債發行上著シキ障害ヲ來ス<sup>ク</sup>シト<sup>ハ</sup>コトナリ惟<sup>フ</sup>ニ折角契約成立ノ運ニ至リタル矢先契約ノ内容<sup>ヲ</sup>公表<sup>ハシメテ</sup>結果内外<sup>ノ</sup>論議<sup>ヲ</sup>誘起スル<sup>ハ</sup>面白カラサル<sup>ハ</sup>言<sup>フ</sup>俟<sup>タ</sup>サル<sup>ニ</sup>付契約ノ内容<sup>ハ</sup>其<sup>ノ</sup>全般<sup>ニ</sup>亘リ成ル<sup>ク</sup>發表セサル方適當ナリト思考スル<sup>ハ</sup>處殊<sup>ニ</sup>前記<sup>一</sup>点<sup>ニ</sup>關シ<sup>テ</sup>ハ興銀側<sup>ノ</sup>申出セアリ右<sup>ハ</sup>独リ興銀側<sup>ニ</sup>取リテノミナラス<sup>「</sup>ヨーポンーハ<sup>」</sup>側<sup>ニ</sup>取リテモ公債發行ノ成功上必要<sup>ハコト</sup>思考セラル<sup>ル</sup>付右<sup>「</sup>一点絶対<sup>ニ</sup>發表セサル様興銀<sup>ノ</sup>意図<sup>シテ</sup>貴官ヨリ<sup>「</sup>ダ<sup>ン</sup>ガリー<sup>」</sup>及<sup>シ</sup>「ケーリ<sup>」</sup>ニ付<sup>ク</sup>ラ<sup>レ</sup>且右様措置方口添<sup>ク</sup>セ<sup>テ</sup>ナタク且右両人側ヨリ其<sup>旨</sup>支那側<sup>ヘ</sup>モ注意セシムル様取計<sup>ハシメタシ</sup>右ニ關シ<sup>テ</sup>ハ小野<sup>ヨリ</sup>モ書面<sup>ヲ</sup>以テ<sup>「</sup>ケーリ<sup>」</sup>側<sup>ニ</sup>申送ル筈<sup>ナリ</sup>將又公債發行期日其他<sup>ノ</sup>今後執ル<sup>ベキ</sup>手続<sup>リ</sup>關シ<sup>テ</sup>ハ近々<sup>「</sup>ダ

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ閲スル件 四一四

レゴリー」日本経由歸米ノ筈ニ付其節東京ニテ万事打合セタキ小野ノ意図ノ由ナルニ付右御含置アリタシ

四一四 七月二十四日

在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

中米間ノ鉄道借款運河借款等ニ閲シケーリ由

淵書記官ニ内話ノ件

第一〇三六号

(七月二十五日接受)

七月二十三日出淵「カレー」ニ面会シ米支鐵道其後ノ成行、運河借款ニ閲シ米国公使カ国会ヲ無視スルコトニ同意スルニ至リタル動機及ビ「ブライス」記事等ニ付尋ネタルニ大要左ノ通り内話シタル由

(一)米支鐵道短期借款ハ六月二十九日ヲ以テ満足ニ成立セリ金額米金六百万弗期限三年手取り九一利子六分右ハ差向キ一ヶ年間ノ所要金額ニシテ今後工事ノ進行ト共ニ続借ヲナス筈ナリ今回ノ契約大綱ハ実ハ伍廷芳總理時代ニ國務院ヲ通過シ大總統モ承諾ヲ与ヘ其旨態々郭泰祺ヲ使トシ自分ニ内報シ來レル事實アルモ權量ハ當時契約ヲ締結セハ政争ヲ滋カラシムル虞アリトテ手続ヲ運バザリシ為終ニ米国公使ヨリ外交部ニ抗議ヲ提出シ權量之ニ反駁ヲ加ヘ政府公報ニ

称シ居ルモ其実 Reinsch ハ獎勵ニ基クモノナリ(「カレー」ハ米国公使ノ遣口ニ付大体面白カラザル感想ヲ有スルカ如キ口吻ヲ洩ラシタル由ナリ)

(二)「ブライス」ノ無責任ナル記事ニ付テハ在北京米国人孰レモ憤慨シ居レリ殊ニ日本ニ対スル不都合極マル批評ノ如キハ日米提携ヲ宗旨トスル自分ノ最モ不快ニ感スル所ナリ該記事ハ八編ヲ以テ完結スル予定ナリシニ拘ラズ第五編限りニテ中止セルカ如シ右ハ「コーカレーシヨン」ヨリ手ヲ廻シ掲載ヲ見合ハセシメタリト信スヘキ理由アリ(在米大使堯閣下宛公第二二三号参照)

以上諸点中米国公使ニ対スル批評ハ申迄モナキ義ナガラ絶対秘密ニ附セラル、様致シタル同公使ハ娘猩紅熱ノ為メ約六週間隔離ノ必要アリ引続キ北戴河ニ滯在ノ予定ニテ本月二十一日ヨリ一等書記官代理公使トナレリ序ヲ以テ申添ニ(七月廿四日前一一、三〇)

四一五 七月二十五日

本野外務大臣ヨリ  
在米國佐藤大使宛(電報)

米中間ノ運河借款契約案調印方及日米間ノ右

確認協定取交方ニ閲スル在中国林公使宛訓令

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ閲スル件

三八一

素破抜ニ至リ一時物別レノ姿トナリタルモ間モナク權量ノ方ヨリ折レ遂ニ六月二十九日完全ニ成立セル次第ナリ線路ハ周家口襄陽間京漢線信陽駅以北十五哩ノ地点ヨリ漢中間株州欽州間(仏國抗議ハ顧慮スルニ足ラズト云ヘリ)ノ三線ニ決定シタリ何レヨリ工事ニ着手スヘキヤハ約三ヶ月後ニ確定シ得ル見込达ナリ

所要材料ハ米国ニ於ケル物価騰貴及運賃ノ關係上勢ヒ日本ヨリ多ク購入スルコトトナルヘシ材料購入ニ付テハ飽迄公平ノ態度ニ出テ濫リニ米人ニ引受ケシムルカ如キコトハ為ササル考ナリ

(一)運河借款ニ閲シ米国公使カ今回日本側意見通リ国会ヲ無視スルコトニ同意シタル動機ニ付テハ公使ヨリ何等聞ク所ナキモ察スルニ本国政府ヨリ差図アリタル結果ナルヘシト認ム Reinsch ハ元来頗ル活動家ニシテ且熱心家ナルモ實際的方面ニ於テ欠クル所アリ實ハ内情ヲ白状セバ運河問題ニ対スル日米協同ニハ当初反対ノ意向ヲ有シ「グレゴリー」ノ如キ其旨「コーカレーシヨン」ニ電報シタル事實アルモ近來ニ至リ漸ク賛成スルニ至レリ彼ノ Chicago Loan ノ如キモ Reinsch ハ人ニ向テハ在米支那公使ノ仕事ナリト

## 二付通報ノ件

第一三七号

支那運河借款ニ閲シ在中国公使ヨリ七月二十一日 Carey マリ米国公使ハ遂ニ国会ニ閲スル規定ヲ除キテ運河借款契約ニ調印スルコトニ同意シタル旨竝支那側ニテモ六月十九日付小野発「コーカレーシヨン」本社宛書面ノ趣旨(国会ノ協賛ヲ要セズトノ意見並印紙税ハ本借款ノ担保トシテ十分ナル處其旨ヲ記載セル書面ヲ支那財政總長ヨリ取付ケ之ヲ「プロスペクタス」ニ記載スヘントノ意見)ニ全然同意タルニ付直ニ紐育ニ向テ最終ノ訓令ヲ電請シタル旨通知シ来レルニ付 Carey ハ於テ紐育ヨリ調印差支ナシトノ訓令ニ接シ次第本契約案前文議會ニ閲スル部分ニ相当修正ヲ加ヘタル上調印ヲ了セシメ且ツ日米間ニ Endorsement ヲ取交ハスコト致シタシトテ請訓アリタルニ付別電第一三八号ノ通回訓シタリ

右別電ト共ニ在紐育總領事ニ転電アリタシ

註 別電第二三八号ハ前掲ノ七月二十四日本野外務大臣発在中

三八三

四二六 八月十八日 本野外務大臣ヨリ  
在紐育矢田總領事宛(電報)

運河借款契約案ノ調印ニ關シ米国会社本店

リ承認ノ電報ナキニ付小野副總裁ヨリ先方会

社總裁宛希望伝達方依頼越ノ件

第五二号

支那運河借款契約案ハ七月下旬北京ニ於テ支那政府側ト  
American International Corporation 代表者ノ間ニ協議  
纏マリ日本側ニ於テモ之ニ異議ナキ旨ヲ表示シタル結果右  
代表者ニ於テ Corporation 本店ヨリ承認ノ電報接手次第  
正式調印ヲ了ス可キ手筈トナリ居レルニ拘ラズ今日迄承  
認ノ電報ニ接セザル由ノ處今回小野興業銀行副總裁ヨリ  
(Present appears best moment for signing Canal Con-  
tract Peking awaiting your final instruction. Wish  
your immediate action) ヘ趣 Corporation 総裁 Stone  
く貴官ヲ経テ伝達方依頼アリタリ就テハ右小野ヨリノ依頼  
ムシテ Stone ワ伝達方可然取計ハレ度ク尚其際貴官自身ノ  
information ヘ為トンテ前記 Corporation 本店ヨリ北京宛  
電訓ノ遲延シ居ル事情並何時頃調印方訓令ノ運ヒトナル手

告ナルヤ其辺ノ事情御問合ノ上回電アリタシ

四二七 八月二十一日 在紐育矢田總領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

小野副總裁ノ希望ヲ先方ニ伝達及先方本件

担当者ノ意見報告ノ件

第一五三号

貴電第五二号ニ關シ八月二十日「ストーン」氏ニ面会貴電  
ノ趣詳細通達シタルニ氏ハ本件担当ノ Keis 氏ヲ招キ本官  
ノ前ニテ其意見ヲ尋ネタルニ「キース」氏ノ曰ク本件ハ支  
那政府ニ於テ異議ナケレバ何時ニテモ調印シ得ル訳ナレド  
モ契約成立後ハ「コーポレーション」ニ於テ米国市場ニ  
「ボンド」ヲ売出ス積ナル處顧問法律家ノ意見ニ拠レバ契  
約ノ一項トシテ支那議會ノ協賛ヲ経タル上トアル故議會ノ  
協賛ヲ経ルヤ否ヤ不明ナル事業ニ向テ「ボンド」トシテ売  
出スモ市場ガ之ヲ歓迎セザルトキハ将来ノ為甚ダ面白カラ  
ズ之カ為ニ調印ヲ控ヘ居タル次第ナルガ先般支那ヨリ帰リ  
日下避暑中ナル「オースチン」ヲ召還シ至急熟議ヲ遂ケタ  
ル上多分両三日中ニ何分ノ訓令ヲ在支那代表者ニ送ルコト  
トスベク其ノ結果ハ早速貴官ニ通知スベシト

四二八 八月二十四日 在紐育矢田總領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

運河借款契約案ノ調印問題ニ關シ先方会社ハ

國務省ノ意見ヲ求ムルコトトナリタル件

第一五八号

往電第一五三号ニ關シ今二十四日再ヒ「キース」ヲ訪問本

件其ノ後ノ経過ヲ尋ネタルニ答ヘテ曰ク「オースチン」昨

日帰来氏ノ意見ヲ聞キ尚本日重役會議ヲ開キ本件ヲ商議シ

タル結果今後「オースチン」及他一名ノ重役華府ニ出張國

務省ノ意見ヲ伺フコトナレリ國務省ニシテ本件ヲ sup-

port スレバ直ニ支那代表者ニ向テ訓電ヲ發スヘシ実ハ法

律顧問ノ意見ニテハ支那ノ憲法ニ依レハ本件契約ノ如キハ

議會ノ協賛ナケレバ無効ニ属スヘキ性質ノモノナル所目下

支那ニハ事實上殆ト議會ナルモノナク且政界ノ情況頗ル險

悪容易ニ恢復ノ見込モナキ模様故是等ノ点ニ關シ國務卿ノ

意見ヲ徵シ且其ノ support ヲ得ルノ必要ヲ認メタル次第ナ

リト

右ノ会談ヨリ推測スルニ「コーポレーション」ニテ本件ノ  
電訓ヲ遲延スルニ至リタル理由ハ單ニ支那政界ノ険悪及議

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 四二八

四二九 八月三十日 在紐育矢田總領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

運河借款契約案調印問題ニ關シ速ニ調印シ然

ル可キ旨本国へ電稟スル様米國公使ニ勧告方

四二九 四三〇

三八五

第六一九号

運河借款ノ件ニ關シ別電(註)ノ通り在紐育總領事ヨリ報告アリタルニ就テハ貴官ハ可成速ニ米国公使ト意見ヲ交換セラレ  
右紐育電報ノ内容事實ナルニ於テハ同公使ヲシテ国会ノ承認ヲ待タズ速ニ契約調印シ可然旨本国政府ヘ電稟スル様勸  
告セラル様致シタシ

註 別電ハ前掲四一九文書ト同文ナリ省略ス

四三一 九月二日 在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)運河借款契約調印ニ關スル在中国米国公使ノ  
意見報告ノ件第一二四六号 (九月三日接受)  
貴電第六一九号ニ關シ九月一日早速米国公使ニ尋ネタルニ  
國務卿ヨリノ問合ニ對シ去ル二十九日 Agreement to be  
signed at once, subject to Parliament's ratification ノ  
趣旨ニテ返電シ置キタル旨ヲ語リ尚國務省ハ多分右ノ通り  
「コーコーポレーション」ニ通達スヘキニ付契約調印次第資金  
ヲ支出シ工事進行ヲ図ル方得策ナルベシト附言セリ (奉天經貴電第六一九号ニ關シ九月一日早速米国公使ニ尋ネタルニ  
國務卿ヨリノ問合ニ對シ去ル二十九日 Agreement to be  
signed at once, subject to Parliament's ratification ノ  
趣旨ニテ返電シ置キタル旨ヲ語リ尚國務省ハ多分右ノ通り  
「コーコーポレーション」ニ通達スヘキニ付契約調印次第資金  
ヲ支出シ工事進行ヲ図ル方得策ナルベシト附言セリ (奉天經

由九月三日前〇、三〇)

四三二 九月二日 在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)運河借款新契約ニ關スル米国公使ノ意見ニ付  
出済ヨリケーリニ内報並ケーリヨリ右調印ノ  
上八十万弗ヲ支出シ事業ニ着手シ度且其場合日本ノ分担方希望申出ノ件 (九月三日接受)  
貴電第六一九号御來示之趣ハ別ニ出済ヲシテ Carey ニ内  
報セシメ置キタル処「ケリー」ハ早速米国公使ト會見ノ上  
九月一日午後出済ヲ來訪シ往電第一二四六号ノ通米国公使  
ヨリ本国ニ發電済ノ趣ヲ内話シ同公使ハ曩ニ國会無視説ニ  
賛成シナガラ今回之ニ矛盾スル意見ヲ電報シタルハ甚タ其  
意ヲ得ズ殊ニ國務省來電及返電ノ次第ヲ今日迄自分ニ秘シ  
本日會談ノ節ニモ往復電報ヲ示サザリシハ頗ル不淡白ナル  
仕打チナリトテ不平ケ間敷キ語氣ヲ洩ランタル由ナリ尚其  
ノ際「ケリー」ハ事茲ニ至リテハ奈何トモ致方ナキニ付愈  
々國会承認ヲ条件トシテ調印スヘシトノ電訓ニ接シタル上  
ハ直ニ之ヲ決行シ同時ニ米金拾万弗ヲ支出シ測量ニ着手ス第一二四七号 (九月三日接受)  
貴電第六一九号御來示之趣ハ別ニ出済ヲシテ Carey ニ内  
報セシメ置キタル処「ケリー」ハ早速米国公使ト會見ノ上  
九月一日午後出済ヲ來訪シ往電第一二四六号ノ通米国公使  
ヨリ本国ニ發電済ノ趣ヲ内話シ同公使ハ曩ニ國会無視説ニ  
賛成シナガラ今回之ニ矛盾スル意見ヲ電報シタルハ甚タ其  
意ヲ得ズ殊ニ國務省來電及返電ノ次第ヲ今日迄自分ニ秘シ  
本日會談ノ節ニモ往復電報ヲ示サザリシハ頗ル不淡白ナル  
仕打チナリトテ不平ケ間敷キ語氣ヲ洩ランタル由ナリ尚其  
ノ際「ケリー」ハ事茲ニ至リテハ奈何トモ致方ナキニ付愈  
々國会承認ヲ条件トシテ調印スヘシトノ電訓ニ接シタル上  
ハ直ニ之ヲ決行シ同時ニ米金拾万弗ヲ支出シ測量ニ着手スルコトニ致シ度ク其ノ場合ニハ日本側ニ於テ予テ約束ノ割  
合ニテ右前渡金分担ヲ希望スル旨申出デタルヲ以テ出済ヨ  
リ何時成立スヘキヤ更ニ見据エ付カサル国会ノ承認ヲ条件トスル契約ニ対シ果シテ「コーコーポレーション」ニ於テ前渡  
シヲ承認スヘキヤト尋ネタルニ开ハ多少疑問ナルモ自分ニ  
於テ出来得ル限り尽力スベキニヨリ「コーコーポレーション」同意ノ上ハ日本側ニテモ同意スル様予メ配慮アリ度キ旨懇  
談シタル由ナリ次テ出済ヨリ折角北京ニ於テ各方面ヲ纏メ  
タル契約案ニ対シ「コーコーポレーション」ニ於テ承認ヲ躊躇  
セルハ金融上ノ關係ニ基クニアラズヤト尋ネタルニ(紐育  
發本省宛第一五八号) Carey ハ米国政府ハ特ニ許可ヲ得タ  
ルモノニアラザレバ米国市場ニ於テ外國債ノ發行ヲ許サザ  
ルコトニ決定シアルモ運河借款ハ既成ノ問題ナルニ顧ミ除  
外セラルコトト相成居リ從テ公債發行上ニハ何等困難ナ  
ク今回ノ經緯全ク政事上ノ關係ニ基ク次第ナリト語レル由  
最後ニ Carey ハ小野段々ノ尽力ニ対シ感謝ノ意ヲ表シ今  
回ノ如キ不結果ニ終リタルハ誠ニ面目ナキ次第ナルモ自分  
ノ如何トモ致シ難キ事柄故事情ヲ諒トシ将来益々援助ヲ得  
タク差向キ前記十万弗分担方ニ關シ予メ配慮アリタキ旨小第六三五号 (九月六日 在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報))運河借款契約調印後米金十万弗支出及日本側  
分担ノ儀同意並中國國会ノ承認ヲ必要トスベ  
キ場合ノ措置ニ關スル件貴電第一二四七号ニ關シ興業銀行ニ於テハ契約調印済ミノ  
上米金十万弗ヲ約束ノ割合ニテ前貸方異存ナキニ付其旨  
「ケリー」ニ伝達アリ度旨小野ヨリ依頼アリ將又貴電第  
一二四六号米国公使ノ國務卿宛回電ニテハ他日國会ノ追認  
ヲ得ルコト能ハサル場合ノ措置振リ不明ナル処興業銀行ニ  
於テハ若シ米国公使ノ意見ノ如ク國会ノ承認ヲ必要トスル  
旨ノ訓電「コーコーポレーション」本店ヨリ到達シタルトキハ  
契約ハ支那政府ト調印済ノ上ハ直ニ効力ヲ發生スルコトト  
シ而シテ若シ追認ヲ得ルコト能ハサル場合ニハ一定期間内  
ニ貸出金ノ全部ヲ返済スヘシトノ条項ヲ契約中ニ加ヘ而シ  
テ右國会ノ追認完了迄ハ一定金額ヲ限り「コーコーポレーション」及興銀ニテ資金ヲ立替ヘ公債ノ發行ハ右國会承認ヲ俟

テ之ヲ行フコト致シタキ意図ニテ右ニテ米国公使ノ同意ヲ得ル様「ケーリー」ニ交渉方興銀ヨリ依頼アリ右ハ適当ノ方法ト思考セラルニ付「ケーリー」ヘ伝達方可然御取計アリタシ

四三四 九月二十日 在中國林公使ヨラ  
本野外務大臣宛(電報)

**運河借款契約調印問題ニ關シケーリガ米国金**

**社ヨリ受領ノ電信ニ付内報越ノ件**

第一三二八号

(九月二十日接受)

貴電第六三五号御訓令ノ趣ハ九月八日「ケリー」ニ伝クタルニ同人個人トシテハ日本側ノ意見ニ賛同スヘキモ調印済次第直ニ効力ヲ發生スヘントノ解釈ハ米国公使ニ於テ恐ラク是認ゼザルヘシト思料セラル兎ニ角同公使避暑地ヨリ帰京次第篤ト相談スヘシト答ヘタルガ九月十九日「ケリー」ヨリ去ル十三日左記二通ノ電信ヲ「ローボーンシヨン」モリ接受シタル旨ヲ内報シ来レリ

〔一国会承認及何等修正ヲ加ベガルコトヲ条件トシテ予テ協定済ノ運河借款契約調印ノ全權ヲ「ケリー」ニ委任スル旨

水利局總裁ニ正式ニ通牒スルコト

〔二財政總長ヨリ内國債ノ担保トナリ居ル印紙税ハ年額五十万弗ニシテ右超過額ハ運河借款ニ対シ第一担保ヲ構成スヘシトノ書面ヲ受領シタル上合法的ニ構成セラレタル国会ノ承認ヲ条件トシテ契約ニ調印スルコト右調印済ノ旨及日本ノ之ニ参加スルコト異存ナキ旨支那政府ヲシテ正式ニ米國公使館ニ通告セシムルコト日本側ニ対シ「ローボーンシヨン」側ニテハ國会ノ承認ハ契約ノ効力發生上絶対必要ナリト確信スル旨ヲ通知スルコト契約調印済次第小野副總裁ノ「ローボーンシヨン」ニ調印スルコト(電文終リ)尚「ケリー」ハ米国公使ノ帰京ヲ待チ十六日同公使ニ面会シ貴電第六三五号ノ次第ヲ内話セルニ國会ノ承認ハ契約ノ効力發生上絶対必要条件ナリトノ見解ヲ主張シ居リ且ツ「ローボーンシヨン」ヨリモ前記ノ如キ訓電アリ乍遺憾日本側ノ解釈ニ同意シ得サル旨ヲ附言セリ不取敢(奉天癸卯八月〇)

四三五 九月二十日 在中國林公使ヨラ  
本野外務大臣宛(電報)

**運河借款契約調印問題ニ關シケーリガ米国金**

**社ヨリ接受シタル電信写送付ノ件**

**附屬書 右電信写**

機密第1110号

大正六年九月二十日

在支那

特命全權公使男爵 林 権 助

外務大臣法学博士子爵 本野 一郎殿

運河借款ニ關スル件

本月十九日 Carey ヨリ同人カ今回運河借款問題リ關シ國務省及米國公使館ヲ經テ International Corporation ヨニ接受セル電信二通ヲ當館ニ内送シ來レル旨往電第11118号ヲ以テ及報告置候処為念右写茲ニ及送付候間御查閱相成度此段中進候也

追テ別紙電信中 D-16-517 ヘアルバ運河借款契約案ノ符号ニ付為念申添候也

(附屬書)

ケーリ氏ガ在中国米公使館ヲ經テ米国國際会社本店ヨリ接受ハタル電信写(1)(1)

(1)

Telegram received Sept. 13, 1917, 5 p. m.

Please furnish Mr. Carey with a copy of the

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ關スル件 四三六

In view of China's urgent desire to provide by means of this contract for the improvement of the Grand Canal this telegraphed authority, confirmed hereby, has been given for the purpose of avoiding inevitable delay incident to the transmission of formal and written powers and this telegraphed written power must be understood as being complete and full and instead of such written powers. The President of the American International Corporation, Charles A. Stone.

LANSING

(1) Telegram received Sept. 13, 1917, 6 p.m.

For W.F. Carey of Peking. Quotation. Your 53  
and 58. Obtain a letter from the Ministry of Finance

stating the entire amount required annually from the stamp duty for the domestic loan is 500,000 dollars Mex., and that our Canal loan constitutes No. 1 lien on all stamp duties over and above such a sum. Stop.

You are hereby empowered to execute then simultaneously with the Government of China canal contract subject to the approval by a legally constituted Parliament. Stop. Execution and consent to a Japanese participation must be formally certified to United States Legation by the Government of China. Inform the Japanese that we are convinced that Parliamentary sanction is essential for the contract's validity and when the contract is concluded execute for the American International Corporation Ono endorsement. Stone. Quotation.

LANSING

四川水 九月二十一日 在中国林公使署  
本野外務大臣宛(電報)

運河借款契約調印問題ニ關ハケーリガ米國社  
モリ接受シタル電信ニ付田源及ケ氏間  
ノ内容報告ノ件

第一三三一一号

(九月二十一日接受)

往電第一三三一一八号ノ件ハ電話及書信ニテ内報シ来レル次第  
ニ付九月廿日出淵ヲシテ Carey ハ付篤ト内情ヲ探ラシメ  
タル結果左ノ如シ

(丁先ツ出淵ヨリ十三日着電ヲ十九日ニ至リ初メテ内報スル

ニ至リタル事情ヲ夫レトナク尋ネタルヤ Carey ハ該電信  
く Corporation ノ依頼ニ基キ國務省モリ米國公使館ニ到  
着シタルモノリテ自分ハ十七日在支米公使ノ招ニ依リ往訪  
シタル際伝達ヲ受ケ昨日更ニ相談ノ上十九日其全文写ヲ貴  
官ニ内送シタル訳合ナルガ米國公使館ニテ十七日ニ至リ初  
メテ伝達シタルハ公使不在等ノ事情アリシニ相違ナキモ聊  
カ心外ニ考ヘ居ル旨ヲ洩セリ丁出淵ヨリ国会承認問題ニ關スル日本側ノ意見遂ニ容レハ  
ルルニ至ラザルハ頗ル遺憾トスル次第ナルガ潘水利局副總  
裁ヲ罷メラシタル今日協定済ノ契約滯リナク調印セラレ得  
くキ見込アリヤト尋ネタルル Carey ハ既ニ米國公使ヨリ

最近段總理ニ向テ速リ調印方申入ニアリ猶ホ自分ヨリモ十

五日朝農商總長ニ向テ懇談ヲ遂ゲタルニ両者共好意的考慮  
ヲ加フヘキヨトヲ約セルニ付存外速ニ調印ノ運トナルベシ  
答々居リ依テ出淵ヨリ国会承認問題ニ關スル日本ノ見解  
一致ヤザル今日直ニ調印ヲ決行スルハ筋違ニ付既ニ支那側  
ト開談シタル以上詰合ヲ進行セシムルコトハ致方ナキモ國  
会承認ヲ有効条件トスルコトニ付更メテ日本側ノ同意ヲ得  
ル迄調印ヲ差控ヘラシタキ旨申入ンタルル Carey ハ至極  
尤モナリトテ快タニモ承諾セリ

ノ進行上甚タ好都合ナリト語レリ

(四)最後ニ出淵ヨリ前貸金ニ言及シタル所 Carey & Cor-  
poration ハテハ調印次第十万弗前貸ノ手続ヲナンシ工事進行  
ヲ図ルニ相違ナク右前貸ニ關スル規定く Corporation ハ  
於テ協定済契約ニ変更ヲ加フルコトヲ欲セサル關係上結局  
文書ノ交換又ハ契約ニ附箋ヲナス等ノ方法ニ依リ万一千国会  
ニ於テ契約ノ承認ヲ拒ミタル場合ニハ支那政府ヲシテ直ニ  
前貸金ヲ償却セシムルコトヲ約束スル外ナカルベシト語レ  
ルニ付岡ヨリ十萬弗位ノ少額ナレハ如何様ニ便宜ノ方  
法アルヘキモ國會成立ノ時機全然不明ナルニ顧ミ工事進行  
上更ニ多額ノ前貸ヲ要スル場合担保等ノ關係ヲ如何ニスル  
所存ナルヤト推問セルニ此ノ点ニ付テハ差向何等考案ナキ  
モ來春トモナリ尚國會成立ノ見据附カサルカ如キ場合ニハ  
愈々國會ニ見切ヲ附ケ尚政府ト相談ノ上直ニ契約ノ効力ヲ  
發生セシムルコトトナスモアルヘキニ依リ米國政府ノ意  
向ニ顧ミ今回ハ兎ニ角國會承認ヲ条件トシテ調印ヲ決行シ  
日米提携ノ主義ヲ確立スルコト致タキ旨熱心ニ述ヘタリ  
認シ然カヤ Corporation ハ依頼ニ基キ米國公使ヲ経テ自  
分ニ付スル電訓ヲ取締キタル上 Corporation ハ愈々運河  
問題ニ付米國政府ノ支持ヲ得ルトナリタル次第故今後

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 四川水

三九一

(奉天第二十一日前七、)

四三七 十月十六日 在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

### 運河借款契約ハ米国側提議通りニテ調印ノ口

#### トニ内定ノ旨ケーリ内報ノ件

第一四五一号

(十月十七日接受)

運河借款契約ハ米国側提議通りニテ最近國務會議ヲ通過シ近日熊希齡支那政府ヲ代表シテ調印スルコトニ内定セル旨Carey ヨリ内報シ来リ尚 Carey & Corporation ニ向テ水災ノ慘澹タル状況ニ顧ミ此際速ニ十万弗ノ前貸ヲ為シ測量ニ著手スルトキハ極メテ良好ナル moral effect ヲ得ベキニ付右前貸ニ対スル条件電報方ヲ電票セル由

四三八 十一月十日 在紐育矢田總領事ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

### 運河借款契約ニ關シストーンコリ速ニ調印ノ

#### 運トナル様日本政府ノ尽力方依頼申出並予備

#### 調査及費用ニ付内話ノ件

第二〇五号

(十一月十一日接受)

「アメリカン、インターナショナル、コーポレーション」  
「ストーン」十一月九日本官ニ面会 canal 契約調印済ノ確

四三九 十一月十一日 在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

「アーヴィング、ジョンソン」  
「ストーン」十一月九日本官ニ面会 canal 契約調印済ノ確

### 運河借款及鐵道問題ニ關シケーリガ出淵ノ質 問ニ答ヘタル要旨報告ノ件

第一五七一号

(十一月十一日接受)

十一月十日出淵「カレー」ニ面会運河借款及鐵道問題ニ付尋ネタルニ大要左ノ通り答ヘタル由

(一)運河借款ハ熊希齡トノ話合纏マリ何時ニテモ調印シ得ル運トナリ居ルモ支那側ノ希望モアリ且正金千万円(脱)国会ヲ無視スル方万事好都合ナルヘシト認メ約十日前重ネテ

「コーポレーション」ニ電票シタルニ付今明日中ニモ返電來ルヘント思料ス尤昨今北京紐育間ノ電信ハ常ニ甚ダシク

遲延スルニ付十三日熊希齡ト會談ノ模様次第ニ即日既定ノ案ニテ調印シ追テ本国ヨリ国会無視同意ノ電報ニ接シタ

ル場合公文交換ニヨリ修正セムカトモ考ヘ居レリ自分ハ来る十九日北京出發日本經由帰國ノ予定ニ付何ノ道夫レ迄ニ

ハ調印ヲ了シ一切ノ手續ヲ済ス積リナリ  
(二)三鉄道中信陽駅以北ヨリ漢中ニ至ル線路ハ其ノ後(往電第一〇三六号)更ニ変更シ信陽ヨリ隕陽(ユンヤン)興安(ヒンヤン)ヲ經テ南ニ下リ四川ノ成都ニ至ル線路ニ改メ交通部ノ同意ヲ得タル所間モナク英國代理公使ヨリ一九〇

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 四四〇

報ニ接セラレタルヤト問ヒタルニ付本官ハ前後ノ事情ヲ綜合スレバ最早調印済トナリ居ル可キ日取りナルモ未だ其ノ確報ニ接セズト云ヒタルニ「ストーン」ハ自分ノ方ヘノ電報ニ依レハ其点頗ル明確ヲ欠キ居ルニ付御尋ネシタル次第、実ハ當方ニ於テモ速ニ調印ヲ欲シ居ル故其旨責政府ニ尚「コーポレーション」ニテハ調印済次第運河地方ノ予備的調査ヲ始ムル都合ニテ既ニ其ノ技師長トシテ日本ノ諸名士ニモ知已ヲ結ヒタル John R. Freeman ヲ任命シ其部下ノ技師ハ何時ニテモ支那ニ出張ノ準備ヲ整ヘ居リ「フリーマン」自身モ続テ出発スルコトナリ居レリ此調査ハ頗ル廣汎ニ互リ關係地方ノ氣候風土雨量等ハ勿論黄河ノ上流ニ溯リ其況濫予防等ノ事迄調査スル積リニテ其費用約十万乃至十四万弗ヲ費ス見込、而シテ此実查報告ハ支那政府ノ要求ナレバ右費用ヲ支那政府ニ支払ハシメ之ヲ同政府ニ引渡スモ苦シカラザル考ヘナリ云々ト云ヒ其態度從来ニ比シ非常ニ「フランク」ナリキ

四四〇 十一月十五日 在中国林公使ヨリ  
本野外務大臣宛(電報)

### 運河ノ予備調査ニ關シ中国ノ承認ヲ得次第既定案ニテ調印スペキ旨ケーリ出淵ニ内話ノ件

別 電 同日在中國林公使發本野外務大臣宛電報第一五三号

右契約調印ノ上ニテ行フベキ予備調査ニ關シ米國側ヨリ中国政府ニ申入ノ件

第一五九二号

(十一月十六日接受)

十四日「カレー」出淵來訪「コーポレーション」ノ電訓ニ従ヒ別電第一五九三号ノ通熊希齡ニ通告シ承認ヲ得次第運河借款契約ニ調印スル積リニ付其趣小野氏ニ電報頗度ク尚



(五) 関於此項六百萬元債券額内或嗣後繼續發行債券額内之由公司購買者一切用費如銀行用費并經手費應由公司担任

(六) 一俟本合同發生効力而在債券未發行之前公司應即為政府預備墊款作籌備工程之用

(七) 公司与政府正式代表会商以定發行債券最宜之時期

府代表當將辦法通知駐美華使查照如商定時期債券難以按

照本合同規定之辦法發行時得政府与公司商定雙方滿意之暫時籌款辦法一切条件屆時另議倘若公司發行債券條件業已議妥之後

而於該項債券發售之通告未發布之前政治上或財政上有特別搖動致有妨礙於金融市面或中政府担保品之價值因此公司以為按照定期發行債券難獲完全之效果則公司得商請政府對於時期應予於相當之展限以利合同之履行若在此限期之内中國債券按照前述之規定仍以上述之原因不能發行政府與公司應雙方妥議暫時籌款辦法力圖工程不致中止

(八) 如因特別事故債券發行變臨時籌款或墊款不克實行時如公司業經交付墊款或已發行債券而不能繼續墊款則於一

### 殷実銀行經理之

(四) 關於本借款不論關於何種性質之款項自美至華自華至美及在華往返一切匯費統由政府擔任包括於兌換費以內該項兌換費或於匯款日折算或於匯款前折算均由政府与花旗銀行商定

(五) 在工程時期以内政府應常使包工工程師有款項以備本合同所指之支用包工工程師於每月月終至遲於一星期前應將來月關於所包工程應用之費預算大概具領經督辦發交總工程師核復呈准簽字之後應由總稽核付給如手內尚存有余款應即照扣包工工程師領款之後祇可照第六條所規定之計劃並所訂之辦法支用總工程局應用經費由該局之會計科掌理每來月之應用經費預算冊應經總稽核與

### 第三条

(一) 本次發行之期限為二十年本發行額自發行第五年終起歸十五個年平均分批按照本合同所指之還款表償還用抽籤之法應在紐約城市銀行舉行該銀行即受任為債券者之代表抽籤抽出之號碼由公司出費登入日報四種償還之本息均以金幣核算由城市銀行於預先佈告之指定地點支付請付之債券應與所有息票同時繳出抽出之券其利息以抽籤之日為

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件 四四

年之後本合同可声明中止政府須於三個月內償還所有墊款或所有已發出之債券應得之利息經此手續後本合同即廢止無效

(九) 此次及其他發行之債券並本借款債券發行之通告其一切內容凡未經本合同特別規定外應由公司與駐美華使商酌規定

### 第二条

(一) 此次發行債券之利息以年息七釐核算自債券所填日期起算即作為發行日期每半年付息一次按照本合同篇後規定辦理凡存於中國花旗銀行未經動用之常期存款應照時値息率計利凡存於美國未經動用之余款以年息二厘計算

(二) 關於本工程之督辦派定以後公司即將該墊款並發行債券後之收入撥存運河水利帳下以需用之多寡由花旗銀行隨時撥進中國存放以備轉匯工程地點督辦及總工程師派定之後如工程可以進行即應匯交天津或上海之花旗銀行存於運河水利帳下足敷六個月預計之經費其預算數目由總工程師與包工工程師商議後規定由督辦核准此後按月繼續匯撥總使中國花旗銀行常存備六個月之用款

(三) 工程經費之撥入工程地點應存放於政府指定在中國之

### 止

(一) 紐約城市銀行為經理關於本借款付息並償本事應得政府每年借款項內經手費万分之二十五該項經手費應與按照所附還款表之本利款項同時每半年結算一次

(二) 於各批借款日期後五年如政府欲得未經贖回借款之全數或其一部分提前贖回則應照未會贖回之券面額另加給予千分之十五每次逢此種特別贖回時政府應於六個月以前正式函知債權者之代表贖回法用舉行額外抽籤按借款之通告書辦理贖回之券於代表人指定地點支付所有贖回之券連所有之息券即由代表同時收銷

(三) 借款期內應於北京花旗銀行転開一借款帳戶帰總稽核接洽每次應償本利期前十五日應由本合同所指之特別收入帳戶內提劃若干銀幣存入借款帳戶足敷在紐約折合金幣或其他由代表人指定之地點折合該處幣制支付本利之用該款應由花旗銀行匯至支付地點倘特別取入帳下之款不足此用其欠々數目應由印花稅項下撥款補足或仍不足則再由他項補之上述之借款帳戶平時存款數目應足敷六個月之用

### 第四条

(一) 本借款及一切墊款并臨時籌款各項以左列者為担保品

(甲) 由本工程涸復之官地政府声明約有三十万畝并与工程有關係之官地以向由政府現征或將征之一切收入及一切涸復与改良地畝之變價招租稅項之收入及政府於受益地畝一切特別征收之收入

(乙) 与本工程有關係之一列非官地之政府現征或將征之一切收入此項地畝政府估計概數為五十萬畝

政府特証明以上所述地畝概數八十万畝以實測之地圖為拠該圖有一分備交公司

(丙) 於借款期內利用本合同所載所整理之運河為政府現收及將收之一切捐稅

(丁) 用借款購置之一切財產

(一) 前列一切財產並收入並未抵押他項借款或經濟義務本借款全數或一部分未經還清以前本借款無論本息對於後來以此項担保品擔負之一切借款與義務應占有優先權此項担保品不得以捐稅釐金統捐等損害之

(二) 前列各項担保品之一切收入於工程時期由總工程局經營於工程完竣之後而於本借款期限以內按本合同之規定由水利局經管如中國銀行可行時應由該行匯存北京上海或天津花旗銀行特別收入帳下以待總稽核按以上之規定、轉匯

(四) 如担保之一切收入不敷償還本息之用如一切收入款項除償還借款用費與修養運河及支付關於本借款別項擔負時政府聲明以其他款項補足之此款內特於一千九百十二年十月二十一日所公布施行之印花稅收入項下備一充足部分為預備金專供此用此項印花稅銀幣五十萬元已為驗契費附屬預備金抵押內國公債外並無他項牽累在本借款期限內對於此項印花稅不得有損害該項預備金之價值或穩固

## 第五条

洋人員政府應施切寒之保護

(三) 關於購辦材料如價值與物質相等應予中國物料以優先權否則用美國材料與機器但其價格不得過他國同等貨之價格

(四) 關於本整理必需之各項物料應准免進口稅及各種捐稅

(五) 山東省內一段工程應自支撥包工工程師第一批估價日期起除遇異常事變之阻誤限三十個月竣工

包工工程師之同意由總稽核呈准督辦簽字之具領支付

(六) 總工程局運河水利局與包工工程師平均應用正當合式之簿記用英文登載進出帳目詳細分項清記雙方均有隨時查閱帳目之權

## 第六条

(一) 督辦由政府派任代表政府辦理關於本合同於工程開辦時該督辦應即於濟寧或其他便利地方設立機關在工程期內稱名曰總工程局此後於借款期內曰運河水利局局應設三科公司負責如下

(甲) 總務科由督辦委派主任一人綜其事本科經管關於總務一切事宜

(乙) 工程科在工程建築以迄工程完竣期內由美國總工程

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 四四一

至借款帳下以作發還本息之用如一切收入款項除償還借款帳外尚有余款應先儘修養運河之用務便運河臻於完全齊整之境再行撥交政府支用

(二) 本合同所規定整理運河之工程擬准裕中公司承辦該公司須經費關於工程建築一切事宜應從迅速堅實節省方面按照總工程師所擬經督辦批准後交包工工程師覆核呈准施行之計畫實行其工務應購辦材料小心收藏保存工程期內將所購材料隨需發用得收受一項勞金其數等於一切支用款項包括總局用款總數之百分之十作為報酬此款於每月杪結算根拠簿記具領呈由督辦發交總稽核覆呈准交付

(三) 對於一切工程與包工工程師或公司之財產並工程上華

師一人任此後在債券期內則由一中國工程師主任  
以上兩工程師均須由督辦商諸公司或經公司之荐舉後委任之退斥之或更換之其人均須為公司所荐者名譽經驗應操上乘  
在工程期內上稱之美國總工程師即為政府辦理本工程之總稽查並諮詢工程師經包工工程師之認可  
應規畫關於整理並溝洫之一切計畫倘所規畫之工程在包工工程師視為難行或其價值不當時則督辦必令其將計畫重行審定臻於計畫可行並其價值相稱實施之工程務得總工程師之滿意倘總工程師以為所施或將施之工程不能符合上述之計畫因之不滿意得有否認包工工程師具領整頓之權包工工程師之整頓具領單應得有總工程師呈准督辦之簽字無論何時督辦或其代表操有檢查工程之全權一俟運河整理告竣運河之修養事宜即由中國總工程師監理務使運河臻於善狀  
(丙) 會計科由美國總稽核一人主任由督辦商諸公司或經公司之推薦委任之退斥之或更換之在借款期內總稽核必須為一美國人而經公司推薦者該總稽核應管理關於履行本合同所有一切收入並支出於借款期內監察各項担保品之收入印花稅不在此例凡由外匯華由華匯外並在中國匯

但提取時須持有本合同所定之正当簽字具領單此外如本合同所述之本息之支付修養費與經常費之支給並將收回款項除應存入借款賬項外之余數撥還政府等事均歸總稽

(二) 倘總稽核對於擔保品收入事有所建議得陳請督辦如可  
核管理

## 実行応予以実施

## 第九条

(四) 政府對於濁濱地畝與濁淤地畝之管理並運河交通機關之發展事如願聘用顧問時得託公司推薦相當人員擇尤委任  
(五) 總工程師及總稽核之薪額由督辦與公司合商酌定

(二) 如本合同有背約時則為債權者利益起見各項抵押作擔保品之收入經公司聲請應即交予公司或稅務司管理之

(一) 本借款發行之債券倘有遺失或被竊去或經毀壞等事公司可隨時知會中國駐華盛頓公使由該公使允准公於四種通行報紙刊登告白聲明該項債券支付之停止并准按各該國法律或習慣之所宜施行別種手續若債券已經毀壞或所失竊之

(一) 以後若遇借款整理時，應先向廣益公司商定。

(一) 本合同應繕寫華英文各四分互相对訛俟後對於結構意義如有爭論須以英文為準

(二) 本合同華英文各一份須交存

(乙) 賈辦方彌濱—善後事宜處

(丙) 北京美國使署

十二 公司

(一) 本合同以政府外交部正式致交北京美國使署之日發生  
效力中華民国政府与広益公司證明本合同雙方之同意特准  
督辦水災河工善後事宜處与広益公司代表於一千九百十七  
年十一月二十日在中国北京簽訂

中華民國政府有辦法

證人(已完)

不仲仲義斐編  
一ノ別紙参照

(右和訳文)

支那政府于九百十七年大運河改修七分利附金貨借款

支那政府ハ山東及直隸兩省内ノ大運河ヲ已修シ此ノ目的ノ  
為借款ヲ公募シ及必要アルトキハ其ノ他ノ改修ノ資金供給

四 日米提携ニ依ル中国運河改修借款成立ニ関スル件

四四

第一条

四〇一

一前記山東及直隸兩省内ノ改修工事ノ資金供給ノミノ目的ヲ以テ政府ハ「コーパレーション」ニ其ノ代理者トシテ以下ニ掲タル条件ヲ以テ米金貨六百万弗ノ金貨借款ヲ發行スルコトヲ委任ス本借款ハ千九百十七年支那政府大運河改修七分利附金貨借款ト称セラルヘシ

二本契約ニ基ク本借款及一切ノ立替金ハ政府直接ノ義務及責任ヲ構成ス政府ハ茲ニ本借款ノ元利金ノ期限ニ遅レサル支払及本契約ニ於テ其ノ為シタル一切ノ約定ヲ履行スル其ノ善意及信用ヲ保証ス

三債券ノ種類、文章、様式及貨幣ノ指定ハ「コーパレーション」之ヲ定メ之ニ關スル一切ノ費用ハ「コーパレーション」之ヲ負担ス但債券ノ彫刻及印刷ノ費用ハ政府之ヲ負担スヘシ

負担スヘク債券ニ印刷スヘキ財政総長ノ署名及財政部印ノ模写ハ政府之ヲ供給スヘシ華盛頓駐劄支那公使ハ又債券發行前該債券カ政府ヲ拘束スルモノナルコトヲ表示スル為債券ニ印刷スヘキ自己ノ署名及官印ノ模写ヲ供給スヘシ

四債券ノ第一発行總額ハ米金貨六百万弗ト定メ百分ノ九十ヲ以テ計算シ一括又ハ連續ニ發行スヘシ本契約ノ規定ハ

三債券ノ種類、文章、様式及貨幣ノ指定ハ「コーパレーション」之ヲ定メ之ニ關スル一切ノ費用ハ「コーパレーション」之ヲ負担スヘシ

負担スヘク債券ニ印刷スヘキ財政総長ノ署名及財政部印ノ模写ハ政府之ヲ供給スヘシ華盛頓駐劄支那公使ハ又債券發行前該債券カ政府ヲ拘束スルモノナルコトヲ表示スル為債券ニ印刷スヘキ自己ノ署名及官印ノ模写ヲ供給スヘシ

五本契約ノ下ニ「コーパレーション」ニ依リ引受ケラルル前記六百万弗金貨債券又ハ「コーパレーション」ニ依リ引受ケラルヘキ将来發行ノ部分ニ關スル銀行手數料、起債料ノ如キ一切ノ費用ハ「コーパレーション」之ヲ負担スヘシ

六本借款契約効力發生後直ニ「コーパレーション」ハ本契約ニ記載スル債券發行前工事ノ予備的費用ニ供スル為政府ニ立替金ヲ交付スヘシ

七「コーパレーション」ハ政府ノ正式代表者ト会商シ債券發行ニ最モ適當ナル時期ヲ定ム且ツ政府ノ正式代表者ハ華盛頓駐劄支那公使ニ必要ナル訓令ヲ發スヘシ右ニ依リ定ムル時期ニ於テ本契約ニ定メ又ハ協定スヘキ条件ニ依スヘシ

ル前記ノ債券發行不可能ナル場合ニ於テハ政府及「コーパレーション」ハ其ノ時ニ至リ協議セラルヘキ契約ノ下ニ双方ニ満足ナルヘキ一時的融通ノ方法ヲ協定スヘシ尤「コーパレーション」ノ為本契約ニ基ク債券發行契約締結後並右發行又ハ其ノ連續發行ノ趣意書公表前金融市場ニ又ハ支那政府証券ノ價格ニ影響ヲ及ホスヘキ政治上又

ハ財政上ノ危機發生シ「コーパレーション」ニ於テ協定ノ時期ニ債券發行ノ成功ヲ保シ難シト意思スルトキハ「コーパレーション」ハ發行時期ニ關シ支那政府ト協議ノ上本契約履行ニ關シ相當ナル期間ノ延長ヲ許与セラルヘシ若シ取極メラルヘキ期間内ニ前記ノ条件ニテ支那債券ノ發行カ前記ノ如ク不可能ナルトキハ政府及「コーパレーション」ハ可成間断ナキ工事ノ繼續ニ供スル一時の融通ニ付双方ニ満足ナル方法ヲ協定スヘシ

トキハ之ニ正当ナル利子ヲ添ヘ払戻スヘシ此ノ手続ヲ経タル後本契約ヲ無効トナス

九本契約ニ於テ特ニ規定ナキ今次及爾後發行債券趣意書及借款事務ノ細目ハ華盛頓駐劄支那公使ト協議ノ上「コーパレーション」之ヲ取極ムヘシ

## 第二条

一今次發行債券ノ利率ハ年利七分トシ債券ノ日附ヨリ之ヲ起算ス右債券日附ヲ債券發行ノ日トナス利子ハ以下ニ規定スル方法ニ依リ毎半季之ヲ支払フヘシ支那ノ「インタナショナル、バンキング、コーパレーション」ニ定期預金トナレル未使用資金ハ時価利率ニテ利子ヲ附スヘク米國ニテ預入セル未使用残額ハ年二分ノ利率ニテ利子ヲ附スヘシ

二本工事督辦任命後「コーパレーション」ハ前記立替金並債券發行後ハ其ノ収納金ヲ大運河水利口座ノ貸方ニ組入レ「インタナショナル、バンキング、コーパレーション」ヲ經テ隨時必要ナル賦払ヲ以テ支那ニ移送スヘク工事地點ニ移送前同「コーパレーション」ニ預入ノ上支那ニ於テ保管セラルヘシ督辦及技師長任命後改修工事ノ進捗可

八突發ノ事由ニ依リ債券發行若ハ一時的融通若ハ立替ヲ實行シ難キトキ及(又ハ)「コーパレーション」カ既ニ立替金ノ交付ヲ為シ及(又ハ)既ニ債券ヲ發行シタル後更ニ立替ヲ為スコト能ハサル場合ニ於テハ本借款契約締結一年後政府ハ三箇月以内ニ立替金及(又ハ)發行債券アル

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件 四四

一

四〇三

一「コーパレーション」カ自ラ前記債券ノ全部又ハ一部ノ購入ヲ妨ケス若シ本借款資金カ工事ニ対シ充分ナラサルトキハ「アメリカン、インタナショナル、コーパレーション」ハ同意サルヘキ条件ニテ新債券發行ニ關スル申込ヲ受クヘキモノトス本契約ニ依リ發行スル債券ノ發行時期及金額竝立替金及一時的融通ニ關スル規定ハ政府ト協議ノ上「コーパレーション」之ヲ決定スヘシ

五本契約ノ下ニ「コーパレーション」ニ依リ引受ケラルル前記六百万弗金貨債券又ハ「コーパレーション」ニ依リ引受ケラルヘキ将来發行ノ部分ニ關スル銀行手數料、起債料ノ如キ一切ノ費用ハ「コーパレーション」之ヲ負担スヘシ

六本借款契約効力發生後直ニ「コーパレーション」ハ本契約ニ記載スル債券發行前工事ノ予備的費用ニ供スル為政府ニ立替金ヲ交付スヘシ

七「コーパレーション」ハ政府ノ正式代表者ト会商シ債券發行ニ最モ適當ナル時期ヲ定ム且ツ政府ノ正式代表者ハ華盛頓駐劄支那公使ニ必要ナル訓令ヲ發スヘシ右ニ依リ定ムル時期ニ於テ本契約ニ定メ又ハ協定スヘキ条件ニ依スヘシ

八「コーパレーション」カ自ラ前記立替金並債券發行後ハ其ノ収納金ヲ大運河水利口座ノ貸方ニ組入レ「インタナショナル、バンキング、コーパレーション」ヲ經テ隨時必要ナル賦払ヲ以テ支那ニ移送スヘク工事地點ニ移送前同「コーパレーション」ニ預入ノ上支那ニ於テ保管セラルヘシ督辦及技師長任命後改修工事ノ進捗可

能ナルトキハ六箇月見積経費ニ充分ナル金額ヲ前以テ天津又ハ上海ノ「インタナショナル、バンキング、コーパレーション」ニ移送シ大運河水利口座ノ貸方ニ組入ルヘシ右見積経費ハ請負会社ト協議ノ上技師長之ヲ定メ督辦ニ交付シ其ノ承認ヲ求ムヘシ右金額ハ又爾後歷月ノ移送ニ依リ之ヲ補充シ「インタナショナル、バンキング、コーパレーション」ヲシテ六箇月見積経費ヲ支那ニ於テ常ニ保有セシムヘシ

三工事地点ニ移送セル運輸資金ハ政府ノ指定スル支那ニ在ル確実ナル銀行ニ預入シ且之ヲ運用セシム  
四支那ニ至リ若ハ支那ヨリ出テ又ハ支那ニ於ケル一切ノ資金ノ移送費ハ該資金ノ性質ノ如何ヲ論セス政府之ヲ負担シ政府及「インタナショナル、バンキング、コーパレーション」間ニ協定スル移送日又ハ其ノ以前ニ定メラルヘキ為替料ニ包含セシムヘシ

五支那政府ハ工事中常ニ請負会社ヲシテ本契約ニ基ク費用ヲ支出セシムル為資金ヲ保管セシムヘシ請負会社ハ毎月末遲クモ七日以前ニ其ノ翌月中請負工事ノ一切ノ目的ノ為支払ヲ要スル金額ヲ示ス全額請求書ヲ督辦ニ差出スヘ

シ右全額請求書ハ技師長ノ承認ヲ得及承認ヲ表示スル督辦ノ署名アリタル後請負会社ニ対シ其ノ未支払保管残高ヲ差引キ主計長之ヲ支払フヘシ然ル後請負会社ハ第四条ニ規定スル如ク起案シ且ツ協定セル方法ニ従ヒテノミ之ヲ使用スヘン  
六後ニ掲クル總工程局ノ一般経費資金ハ該局会計課ニ於テ之ヲ保管スヘシ毎翌月一般経費予算ハ主計長及請負会社ニ於テ協定シ請求書カ督辦ニ依リ承認及署名セラレタルトキ主計長之ヲ支払フヘン  
七運河總工程局、運河水利局及請負会社ハ常ニ英文ニテ正当合式ノ帳簿ニ記入シ収納支出ニ関スル一切ノ取引ヲ詳細ニ且項目ヲ分チ之ヲ明カニスヘシ双方当事者ハ常ニ右帳簿ヲ查閱シ得ヘク且之ヲ検査スル権利ヲ有ス

### 第三条

一本債券ノ期限ハ二十箇年トス本債券ハ發行第四年ノ満了日ヨリ起算シ十五箇年均分年賦ニテ本契約ニ依リ紐育市「ナショナル、シティー、バンク、オヴ、ニューヨーク」（同行ハ茲ニ債券所有者ノ代表銀行ニ指定セラル）ニ於テ行ハルル抽籤ニ依リ本契約ニ附屬スル割賦償却表ニ從

ヒ償還セラルヘシ當籤番号ハ「コーパレーション」ノ費用ヲ以テ四箇ノ日刊新聞ニテ公表スヘシ一切ノ利子及割賦金ノ支払ハ「ナショナル、シティー、バンク」ニ依リ同「バンク」ノ公告ニ依リ指定スル場所ニ於テ金貨ヲ以テ之ヲ行フ支払ノ為提供セラルル債券ハ其ノ利札アルモノハ之ト共ニ引渡スヘシ當籤債券ニ對スル利子ハ當籤日ニ至リテ止ム

二本借款ノ利子支払及元金払戻ニ関スル償還ニ付「ナショナル、シティー、バンク、オヴ、ニューヨーク」ハ政府ヨリ一千分ノ二十五ノ手數料ヲ受領スヘシ右手數料ハ本契約附屬割賦償還表ニ從フ利子支払及元金払戻ト同時ニ半年每ニ之ヲ支払フヘシ  
三之等借款ノ各日附ヨリ五年後政府ニ於テ借款償還未済額ノ全部又ハ一部ヲ償還スル意図アルトキハ償還未済債券ノ額面価格ニ千分ノ十五ノ増額ヲ支払ヒ之ヲ償還スルコトヲ得但シ政府ハ右ノ如キ臨時償還ヲナス場合ハ常ニ六箇月以前ニ於テ債券所有者代表銀行ニ正式ニ之ヲ通告スヘシ右特別償還ハ借款趣意書ニ規定スル如ク番外抽籤ニ依リ之ヲ行フ償還済債券及利札アルトキハ右利札ハ債券ニ

### 第四条

一本借款、一切ノ立替金及臨時融通ハ左記ニ依リ担保セラル  
(1)本契約ニ基ク工事ニ依リ埋立テタル官有地ニシテ政府

カ約三十万畝ト称スルモノ並工事ニ依リ影響ヲ受クル官有地ヨリ政府ニ依リ徵収シ又ハ徵収セラルヘキ一切ノ収入並一切ノ埋立及(又ハ)改修シタル土地ノ払下、貸下及(又ハ)捐税ヨリノ一切ノ収入並本工事ニ依リ利益ヲ受クル土地ニ対シ政府カ課スル特別税ヨリノ一切ノ収入

ニ課スル義務ニ対シ優先権ヲ有ス前記担保ハ捐税、釐金、統捐、特許料又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ障害スルコトヲ得ス

(四)本改修ニ依リ影響ヲ受クル一切ノ他ノ土地ニシテ政府カ約五十万畝ノ地域ト算定スルモノヨリ徵収シ又ハ徵収セラルヘキ一切ノ捐税、政府ハ茲ニ上記地方ノ見積地域ハ約八十万畝ニ上ルコトヲ保証ス該地域ハ実測後作成セラルヘキ地図ニ依リ確認セラレ「コーザレーシヨン」ニ交付セラルヘキモノトス

(五)本借款有効期間内ハ本契約ニ依リ改修セラレタル大運河ノ部分ノ使用ニ対シ徵収シ又ハ徵収セラルヘキ一切ノ通行税及捐税

(六)借款資金ヲ以テ購入シ又ハ建設セル一切ノ財産  
一前記ノ財産及収入ハ現時ニ在リテハ財政上ノ義務アル他ノ借款ノ抵当トナリ居ラ本借款又ハ其ノ一部ノ償還ヲ終ヘサル間本借款ハ其ノ元利ニ付一切ノ将来ノ借款及之

三前記担保ニ関連スル一切ノ収入ハ工事期間中ハ總工程局ニ於テ又工事竣成後本借款有効期限内ハ下記水利局ニ於テ之ヲ取扱フヘク利子及割賦金支払ノ為主計長ノ差圖ニ依リ前記借款事務口座ニ移送セラルニ至ル迄中国銀行ハ可成之ヲ北京、上海及(又ハ)天津ノ「インタナショナル、バンギング、コーザレーシヨン」ニ送付シ其ノ他別収入口座ニ預入スヘシ前記借款事務口座ニ振替ヘタル後前記収入ニ残余アルトキハ(完全ナル状態ニ保存セラルヘキ運河ノ保存及(二)政府ノ使用ニ之ヲ供スヘシ

四若シ本契約ニ担保セル収入ニシテ利子、割賦払金、借款事務、為替料、運河ノ保存又ハ本契約ニ基ク其ノ他ノ義務ニ要スル金額ヲ支払フニ足ラサルトキハ政府ハ茲ニ該不足額ヲ他ノ財源ヨリ補充スヘキコトニ同意ス右他ノ財源中特ニ一千九百十二年十月二十一日公布ノ条例ニ依リ徵收スル「印花税」ト称スル印紙税ノ大部分ヲ予備資金トシテ本目的ノ為割当ツヘシ右資金ハ既ニ行為税ニ次ク予

備資金トシテ内国借款ニ留保セラレタル銀幣五十万元ヲ

担保トセル外一切ノ拘束ヲ受ケス本借款有効期限内ハ印紙税ニ閏シ茲ニ規定スル予備金ノ価値又ハ安全ヲ害スヘキ何等ノ手段ヲ執ラサルヘシ

#### 第五条

一「シームス、ケレー、レールウェイ、エンド、カナル、コムパニー」ハ茲ニ本契約ニ規定スル大運河改修工事ノ請負会社トシテ推薦セラレ且承認セラル右会社ハ土木建築工事ニ閏スル一切ノ事項ヲ監督管理シ技術長ニ依リ発案セラレ督辦ニ依リ承認セラレタル計劃ニ従ヒ同工事ヲ有効、經濟、急速ニ竣成スヘシ督辦ハ右計劃ヲ承認施行ノ為請負会社ニ交付スヘシ右会社ハ工事中一切ノ材料ヲ購入シ、一切購入材料ノ細心ナル貯蔵、保護及需用ニ随

フ發給ヲナスヘク唯一ノ報酬トシテ總工程局経費ヲ含ム

一切ノ目的ノ為ニ支出スル総額ノ一割ニ相当スル金額ヲ利益トシテ受領ス右金額ハ毎月工事ノ終了スルトキ月計算ニテ請負会社ニ支払ハルヘシ右ノ請求書ハ主計長ニ依リ承認セラレ承認及署名ノ為督辦ニ提出セラレタル計算ニ基クヘシ

#### 第六条

一、督辦ハ政府ニ依リ任命セラレ本契約ニ基キ為サルヘキ工事ニ閏シ其ノ代表者トシテ行動ス督辦ハ本工事開始ノトキ工事期間内ハ總工程局トシテ知ラル一局ヲ濟寧ニ設ケ効期間内ハ運河水利局トシテ知ラル一局ヲ濟寧ニ設ケ之ヲ同地又ハ便宜ナル他ノ場所ニ維持スヘシ同局ニハ左ノ三課ヲ設ケ責ニ任セシム

(一) 督辦ノ任命スル吏員ノ監督スル總務課、該課ハ雜務ニ  
関スル一切ノ事務ヲ管掌ス

(二) 工事期間及其ノ竣工ニ至ル迄米国人技師長ノ監督シ其  
ノ後債券償還未済中支那人技師ノ監督スル工務課  
右両技師ハ「コーパレーション」ト協定シ又ハ其ノ推  
薦ニ依リ督辦之ヲ任免シ及(又ハ)更替セシムヘク且  
常ニ其ノ業務上ノ名声及経験共ニ優秀ニシテ「コーパ  
レーション」ニ依リ指名セラレタル者ナルヘシ

工事期間中前記米国人技師長ハ本工事ニ付政府ノ監督  
官及顧問技師タルヘシ同技師長ハ請負会社ノ同意ヲ得  
テ目的ノ改修及排水ノ一切ノ計画ヲ為スヘン若シ計画  
セラレタル工事ニシテ請負会社ニ於テ実行困難ナルカ  
又ハ費用相当ナラスト思惟スルトキハ督辦ハ前記ノ如  
ク之ヲシテ実行可能ナラシメ及費用ヲ相当トナス為該  
計画ヲ改メシムヘシ工事ハ技師長ノ満足スル様行ハル  
ヘク同技師長ハ自ラ該工事カ前記計画ニ從ヒ施工サレ  
又ハ施工セラルヘシト認ムルニ至ル迄總額請求書ニ対  
スル其ノ承認ヲ拒絶スル權力ヲ有ス技師長ハ請負会社  
ノ一切ノ總額請求書ニ付督辦ノ承認及署名ヲ得ヘキモ

### キハ之ヲ実施スヘシ

三前記各課ニ於テハ督辦ノ承認ヲ得タル後ニ非ラサレハ属  
吏ヲ任命スルコトヲ得ス

四政府ニシテ土地埋立、埋立地管理及大運河ノ交通便益ノ  
発展ニ關シ顧問ヲ雇傭セムトスルトキハ「コーパレーション  
ヨン」ニ對シ承認及任命スヘキ適當ナル者ノ推薦ヲ求ム  
ヘシ

五技師長及主計長ノ俸給額ハ督辦及「コーパレーション」  
ノ間ニ之ヲ取極ムヘシ

### 第七条

一若シ本契約ニ違反スルモノアルトキハ一切ノ担保収入ハ  
債券所有者利益保護ノ為「コーパレーション」ノ請求ニ

依リ「コーパレーション」又ハ稅務司ニ移管セラレ且管  
理セラルヘシ

### 第八条

一本借款ニ依リ發行スル債券ノ喪失、盜難、毀損ノ場合ハ  
「コーパレーション」ハ華盛頓駐劄支那人公使ニ之ヲ通告  
スヘク同公使ハ「コーパレーション」ニ對シ右債券ノ支払  
ノ停止セラレタルコトヲ四箇ノ新聞紙上ニ広告シ及當該

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件

四四

ノトス督辦及其ノ代理人ハ何時ニテモ工事ヲ視察スル  
全權ヲ有ス運河改修工事竣成後ハ支那人技師長ハ完全  
ナル狀態ニ維持セラルヘキ運河ノ維持ヲ監督ス

(三) 「コーパレーション」ト協定シ及(又ハ)其ノ推薦ニ  
依リ督辦ノ任免及(又ハ)更替セシムヘキ米国人主計  
長ノ監督スル会計課、右主計長ハ本借款有効期間中ハ  
常ニ「コーパレーション」ニ依リ指命セラルル米国人  
タルヘシ

右主計長ハ本契約實現ニ關スル一切ノ収入及支出ヲ監  
督シ本借款有効期間中印紙税ヲ除ク担保収入ノ徵收ヲ  
監督スヘシ右主計長ハ支那ニ至リ支那人ヨリ出テ支那國  
内ニ於ケル資金ノ移送ヲ怠ラス行フヘシ右主計長ハ借  
款資金ノ一部ノ引出ヲ為スモ本契約ニ規定スル正当ナ  
ル署名ヲ有スル請求書在ルトキニ限ル右主計長ハ本契  
約ニ掲クル如ク利子、割賦払金ノ費用ノ支払、維持費  
及運用費ノ支払ヲ取扱ヒ借款事務勘定ニ据置クコトヲ  
要スル金額以上ノ収入ノ残高ヲ政府ニ引渡スヘシ  
二、米国人主計長ハ担保収入ニ關シ意見ヲ有スルトキハ之  
ヲ督辦ニ建議スヘク督辦ハ右意見ニシテ實行可能ナルト  
夫スヘシ「コーパレーション」ハ右副債券ノ交付作成ニ  
関スル一切ノ費用ヲ右債券所有者ノ勘定ニ於テ之ヲ支払  
フヘシ

二一切ノ債券、利札及本借款事務ニ關スル支払及受領ニ對  
シテハ本借款ノ流通期間内支那人ノ捐税及負担ヲ免除スヘ  
シ

### 第九条

一發行セラルヘキ六百万弗金貨債券中金貨三百五十万弗ハ  
米國ニ於テ之ヲ發行スヘク且金貨二百五十万弗ハ他國ニ  
於テ發行スルコトヲ得債券ハ一部又ハ連續ノ發行及其ノ  
増額ハ右ト同一ノ比例ヲ以テ之ヲ發行スヘシ  
二「コーパレーション」ハ支那人公使ノ承認ヲ得テ本契約ニ  
基ク其ノ權利又ハ權力ノ一部ヲ轉讓シ又ハ委託スルコト

四〇九

ヲ得但工務課、会計課ノ管理及契約ノ管理ハ米国人以外ノ外国人ニ転讓又ハ委託スルコトヲ得ス

## 第十一条

一 将來江蘇省内ノ台莊ヨリ鎮江ニ至ル大運河ノ区劃ヲ改修スル為借款スル場合ニ於テハ其ノ申込ハ先ツ「アメリカン、インタナシヨナル、コーパレーション」ニ之ヲ為スヘシ

## 第十二条

一本契約ハ相互ニ照会セル支那語及英吉利語ノ本文ヲ以テ四通ヲ作成ス本契約ノ文理又ハ意義ニ関シ争議ヲ生ジタルトキハ英吉利語ノ本文ニ從フヘキモノトス

一本契約ノ支那語及英吉利語ノ正文一部ハ左記ニ交付セラルヘク且保管セラルヘシ

(一) 水利局

(二) 外交部

(三) 在北京米国公使館

四 「コーパレーション」

## 第十二条

一本契約ハ其ノ一部ヲ政府外交部ヨリ在北京亞米利加合衆

國公使館ニ送付ノ日ニ其ノ効力ヲ發生ス

右証拠トシテ支那共和国政府及「アメリカン、インタナシヨナル、コーパレーション」ハ水災救済及水利督辦並

「コーパレーション」ノ代表者ヲシテ千九百十七年十一月二十日支那国北京ニ於テ本契約ニ調印セシム

支那共和国水災救済及水利督辦

熊 希 齡

「アメリカン、インタナシヨナル、コーパレーション」

代表者

「ダブリュー、エフ、ケーリー」

証人「エフ、シ、ヒッチコック」

証人「ティー、エス、ウェイ」

## 附 日本ノ滿蒙鉄道事業ヘノ米国資本家協同ニ關スル件

四四一 一月五日 在中國林公使（ヨリ）  
本野外務大臣宛（電報）

## 日本ノ滿蒙鉄道事業ニ對シ米国資本家協同ノ

余地有無ニ付意見ヲ承知シタキ旨米国公使申

道契約ニ參加スルコトヲ方針トシテ先方ノ提議ニ応ズルコトトセバ寧ロ有益ナラズヤト思考ス

殊ニ先方ノ提議ハ多分 American International Corporation 辺リノ申出ニ依ルモノナルヘク且其ノ純然タル実業的見地ニ基クハ明白ナルノミナラズ英仏米資本ノ或ハ流入ス

ヘキコトハ四鄭鐵道契約ニ於テモ現ニ予想シ居タル次第ニ付旁至急本件ニ對シテ好意的考慮ヲ加ヘラル様致シタク尚本件ハ單ニ本使一己ノ私見ヲ尋ねリタル形式トナリ居ル次第ニ付兎ニ角一応別電第一号ノ趣旨ヲ以テ回答致置キ帝国政府御詮議ノ結果ヲ待チテ更ニ具体的的回答ヲ与フルコト然ルヘクト思考ス何分ノ義御電訓ヲ請フ  
(別電一)

一月三日附書面ヲ以テ米国公使ヨリ滿洲ニ於ケル我方關係ノ鐵道ニ對シ米国資本家ト協同ノ余地アルヘキヤ否ヤニ閔シ本使ノ私見ヲ非公式ニ承知シタキ旨大要別電第一〇号ノ

通り申越シタル処右ハ滿洲鐵道ノ中立又ハ錦愛鐵道ノ布設計画等トハ全然性質ヲ異ニシ我方ノ計画ニ參加シタシト云

フ希望ニ外ナラザルヲ以テ第一、我方ニ於テ主動者タルノ地位ヲ保持スルコト、第二、滿蒙ニ於ケル我特殊利益ニ影響ヲ及ボサシメザルコト、第三、我方ニ於テモ米支間ノ鐵

四 日米提携ニ依ル中國運河改修借款成立ニ關スル件（附）

## 四四二

(米国公使ノ來信要旨)

支那ニ於ケル純然タル商工業ニ對シ日米兩國資本家ノ間ニ協同ノ可能 (Possibility of Co-operation) ナルヘキヤニ就テハ兩國ニ於テ盛ニ論議セラレ本使モ貴公使ト會談ノ際屢々問題ニ言及セリ、本使ハ四鄭鐵道契約中ニ其公債ヲ倫敦

## 四一一